



NTT DATA

訪日外国人旅行者移動実態調査結果

2017年4月20日

東日本旅客鉄道株式会社

株式会社NTTデータ

1. 広域移動実態調査

2. 狭域（首都圏）移動実態調査

3. アンケート調査

- 本調査には、“**モバイル空間統計**”を活用した。モバイル空間統計は、訪日外国人の携帯電話が、NTTドコモにローミングインした際の運用データ※1を基に推計するため、実態に近い移動分析が可能

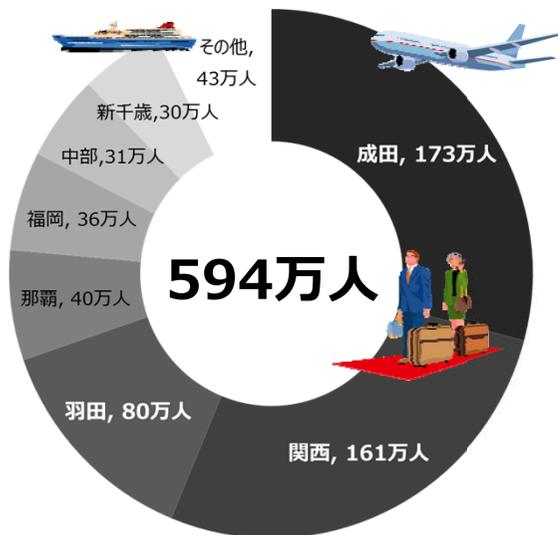
“いつ” “どんな人が” “どこから” “どこに”
動いたかが分かる、**新たな人口統計**です。



※1：携帯電話をいつでも接続可能な状態に保つために必要なデータ
 ※2：2016年12月現在、上記端末数より法人名義の契約データ等を除去して推計
 ※3：2016年1月～12月、ドコモ独自推計による

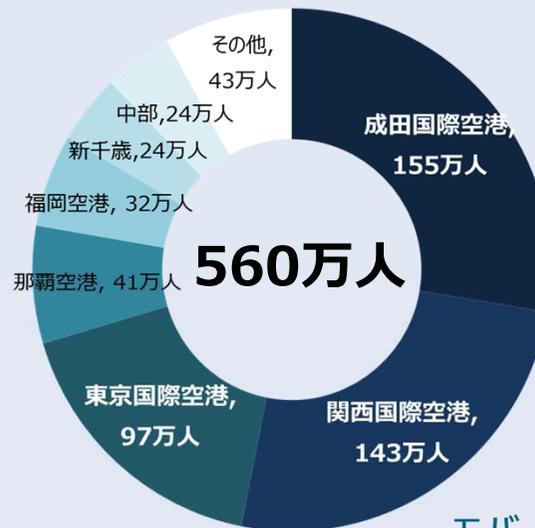
- モバイル空間統計は、豊富なサンプル数を基に拡大推計を行っている。本調査では“2016年6-8月”の間に入出国した訪日外国人を“560万人”と推計している（拡大先：法務省 入出国管理統計）

実際の入国者数（2016年6-8月）

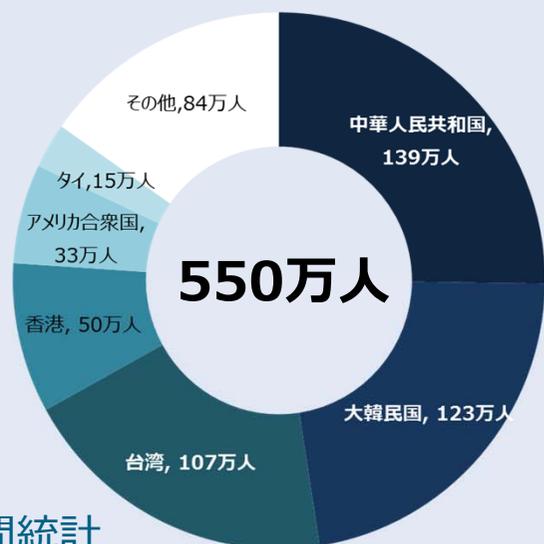


出展;法務省 入出国管理統計統計表
http://www.moj.go.jp/housei/toukei/toukei_ichiran_nyukan.html

入国港別の旅行者数(2016年6-8月)



国別の旅行者数（2016年6-8月）



モバイル空間統計
 (サンプル数が多く、偏りが少ない推計値)

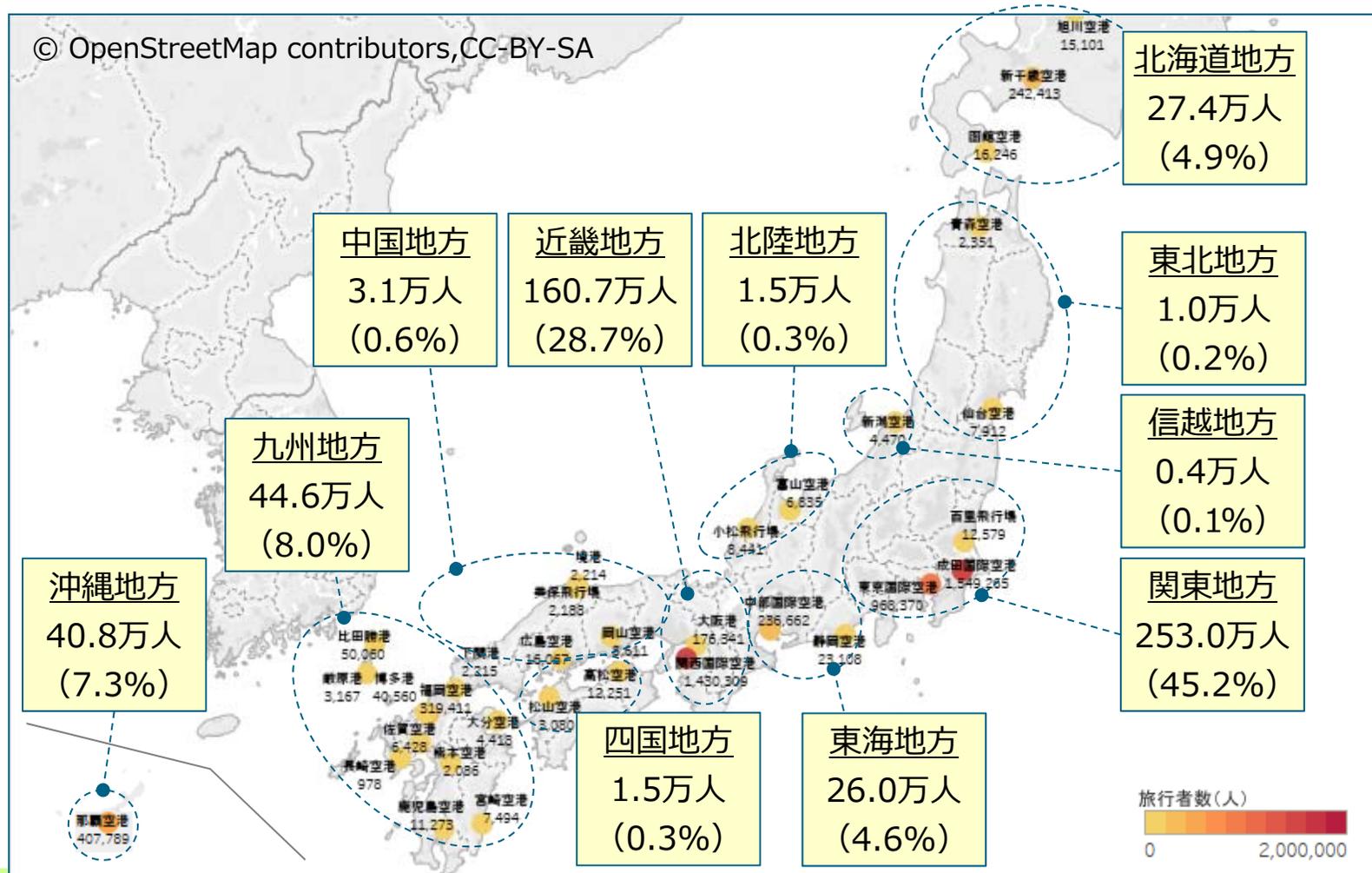
2016年訪日外国人数約2,400万人に対し
訪日外国人 約500万台 (※1) の携帯電話運用データ (※2)

(※1) 2016年1月～12月、ドコモ独自推計による (※2) 携帯電話をいつでも接続可能な状態に保つために必要なデータ

◎ 出入国管理統計とモバイル空間統計の差分は、国別・空港別等に細分化した際に旅行者数が一定値以下となる場合、プライバシーの観点により少人数が除去されるため

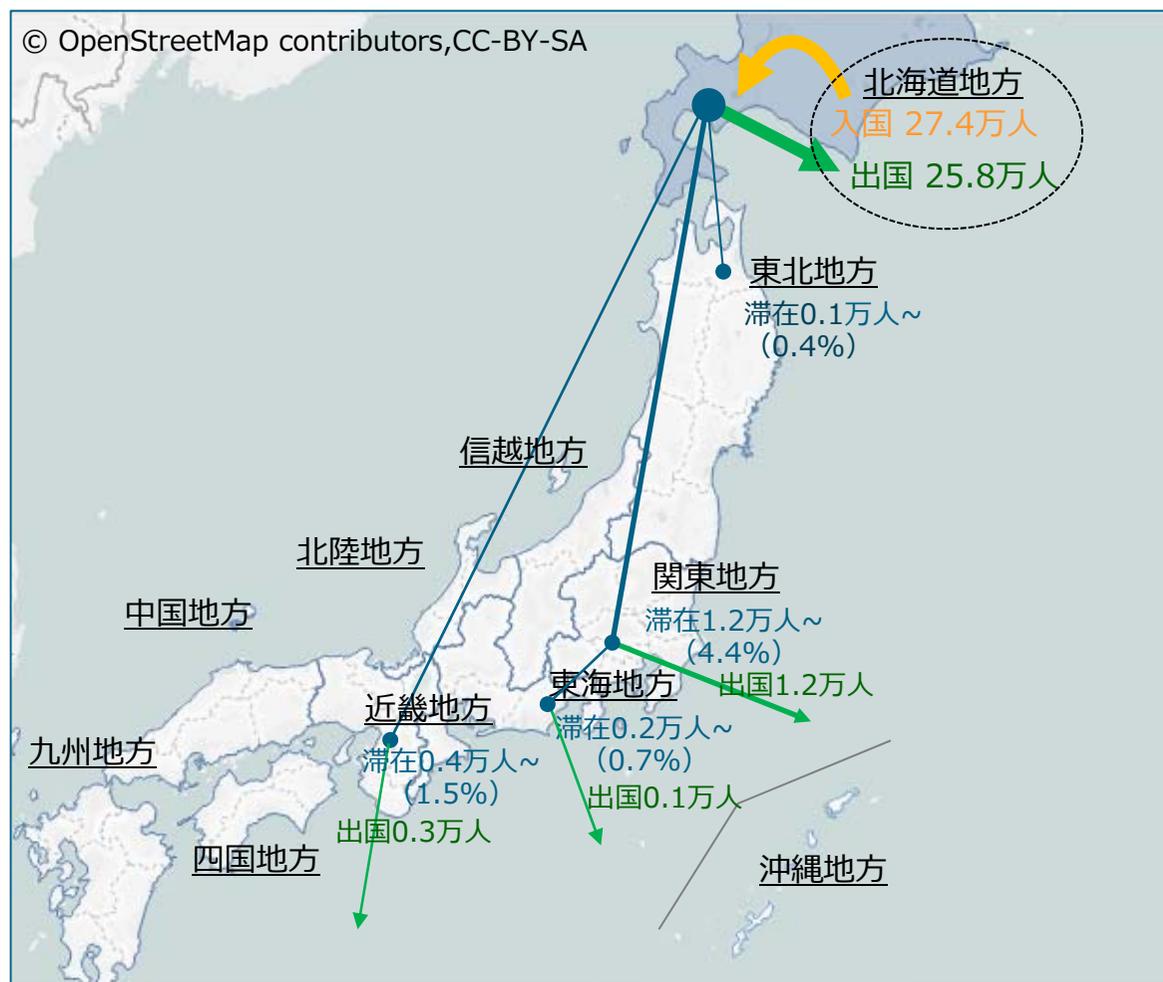
- 訪日外国人560万人の入国区域は主要3空港のある“**関東**”と“**近畿**”に7割強が集中。次いで、“**九州・沖縄・北海道**”。また、入国港別にみると、海港の多い“**中国・九州**”は分散傾向にある
- ※日本全体を11の区域（北海道、東北、関東、信越、北陸、東海、近畿、中国、四国、九州、沖縄地方）と規定し、区域をまたいだ移動を“**広域移動**”、区域内移動を“**狭域移動**”と定義する

入国区域別の旅行者数（2016年6-8月）



- “狭域移動者”の旅行期間は“5日間”が多い。また、“関東・近畿”への滞在は“入国6日目”にピークを迎え、これら広域移動者の多くが“8日目”までにそのまま出国している。“東北”への移動は隣接する“青森県”が主

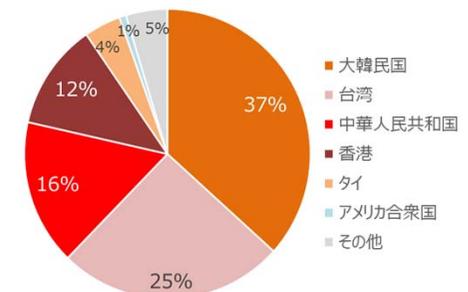
北海道地方入国/旅行者の広域移動実態 (2016年6-8月)



(移動実態まとめ)

旅行者数	27.4万人 (100.0%)	
狭域のみ移動者数	25.7万人 (93.8%)	
広域移動者数	北海道戻り (入国=出国)	0.1万人 (0.4%)
	そのまま出国 (入国≠出国)	1.6万人 (5.8%)
滞在都道府県数 (1人あたり)	1.1	

(国・地域)



- “狭域移動者”の旅行期間は“4日間”が多い。また、“関東”への滞在は“入国3日目”にピークを迎え、これら広域移動者の多くが“5日目”までにそのまま出国している（一部は、“4日目”から“近畿”へ更に移動）

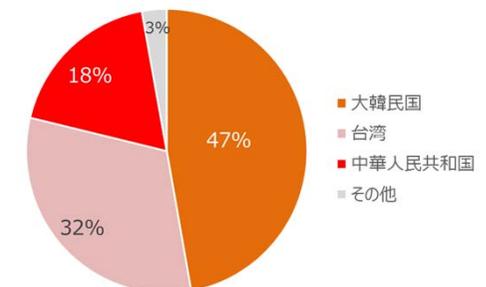
東北地方入国/旅行者の広域移動実態（2016年6-8月）



(移動実態まとめ)

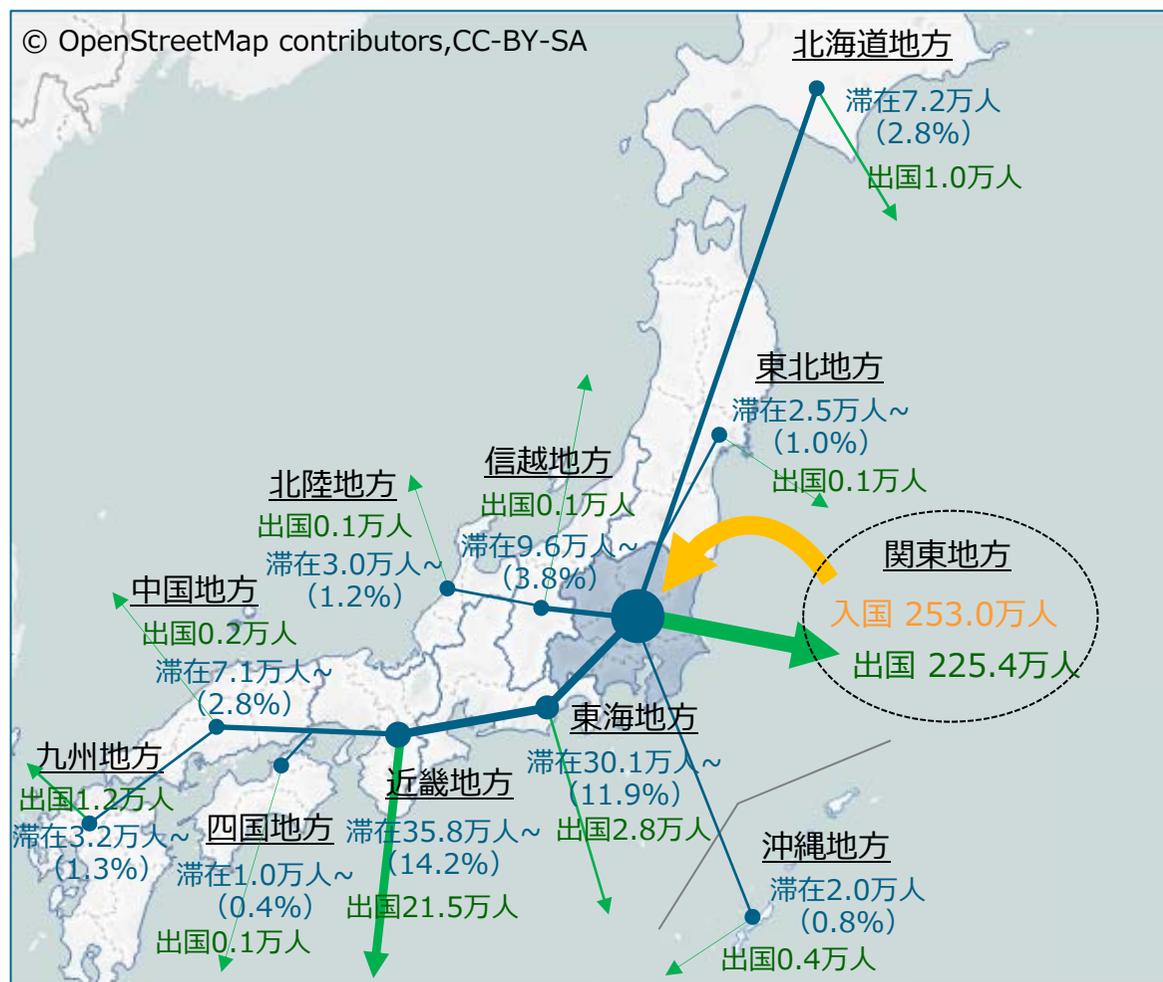
旅行者数	1.0万人 (100.0%)	
狭域のみ移動者数	0.6万人 (60.0%)	
広域移動者数	東北戻り (入国=出国)	0.1万人 (10.0%)
	そのまま出国 (入国≠出国)	0.3万人 (30.0%)
滞在都道府県数 (1人あたり)	2.5	

(国・地域)



- “狭域移動者”の旅行期間は“5日間”が多い。“北海道・東北”への滞在は“入国3~4日目”がピーク、多くが“6~7日目”までに戻って出国するか更に移動。他区域への広域移動は“信越から北陸”・“東海から近畿”と徐々に広がっていく

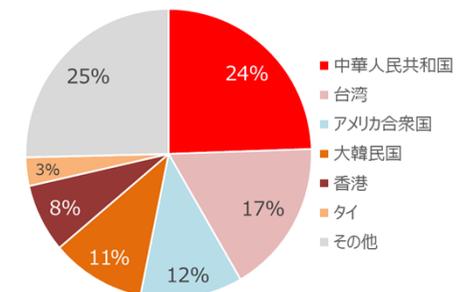
関東地方入国/旅行者の広域移動実態 (2016年6-8月)



(移動実態まとめ)

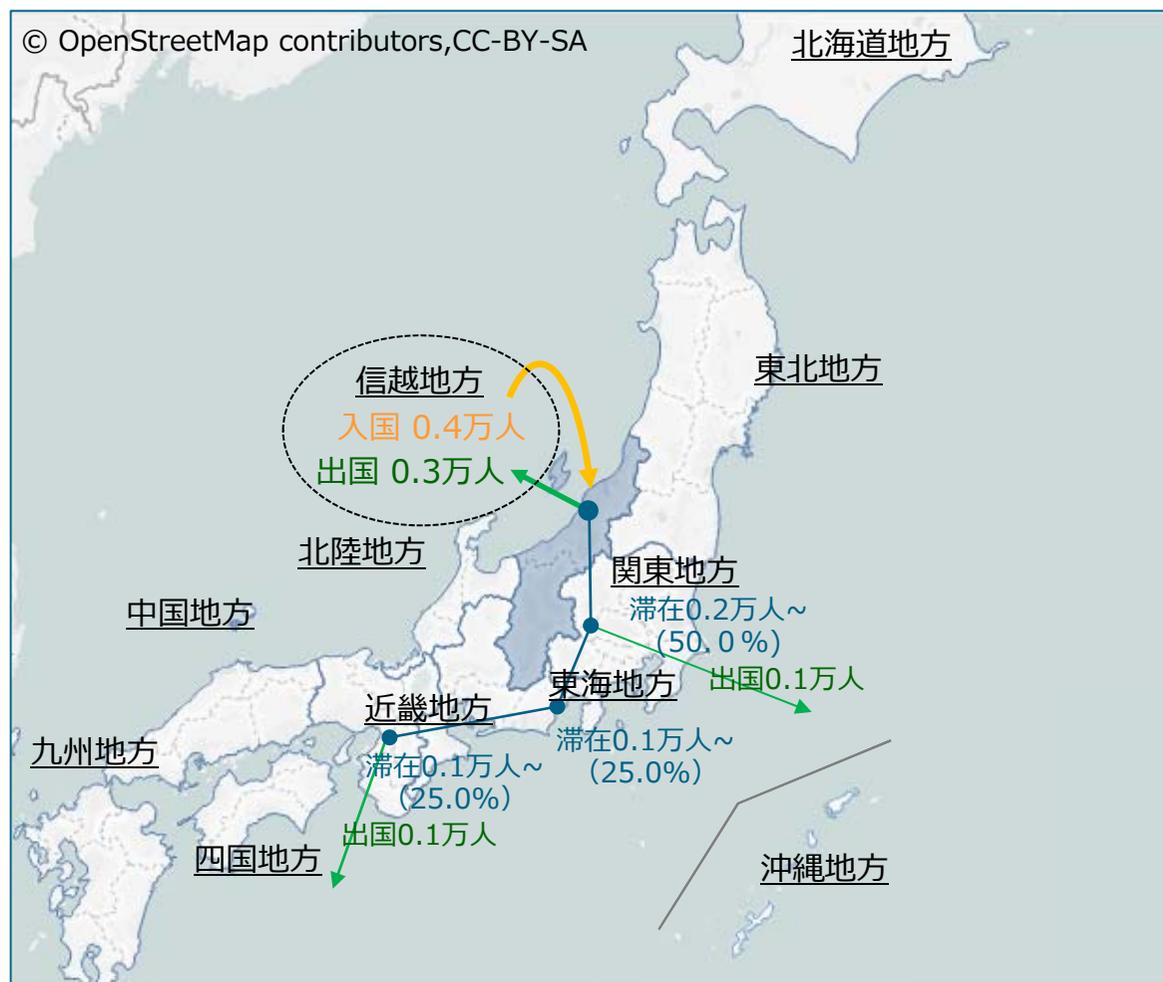
旅行者数	253.0万人 (100.0%)
狭域のみ移動者数	156.8万人 (62.0%)
広域移動者数	関東戻り (入国=出国) 68.7万人 (27.2%)
	そのまま出国 (入国≠出国) 27.5万人 (10.9%)
滞在都道府県数 (1人あたり)	2.9

(国・地域)



- “狭域移動者（500人未満）”の旅行期間は“3日間”が多い。また、“関東”への滞在は“入国3日目”にピークを迎え、これら広域移動者の半数が“4日目”までに信越に戻る（一部は“東海・近畿”へ更に移動）

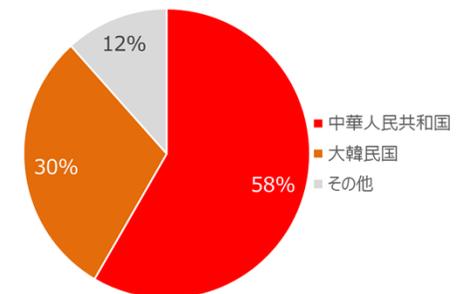
信越地方入国/旅行者の広域移動実態（2016年6-8月）



(移動実態まとめ)

旅行者数	0.4万人 (100.0%)	
狭域のみ移動者数	0.0万人 (0.0%)	
広域移動者数	信越戻り (入国=出国)	0.2万人 (50.0%)
	そのまま出国 (入国≠出国)	0.2万人 (50.0%)
滞在都道府県数 (1人あたり)	3.5	

(国・地域)



- “狭域移動者”の旅行期間は“4日間”が多い。また、“信越”への滞在は“入国3日目”、“関東”は“5日目”と順にピークを迎え、多くが“7日目”までに“北陸”に戻る（“東海・近畿”への移動も並行）

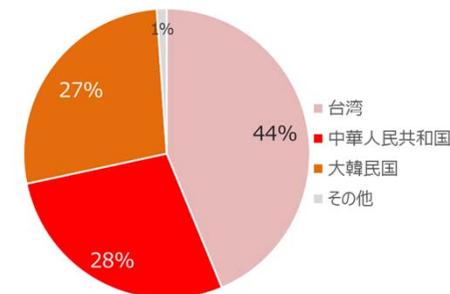
北陸地方入国/旅行者の広域移動実態（2016年6-8月）



(移動実態まとめ)

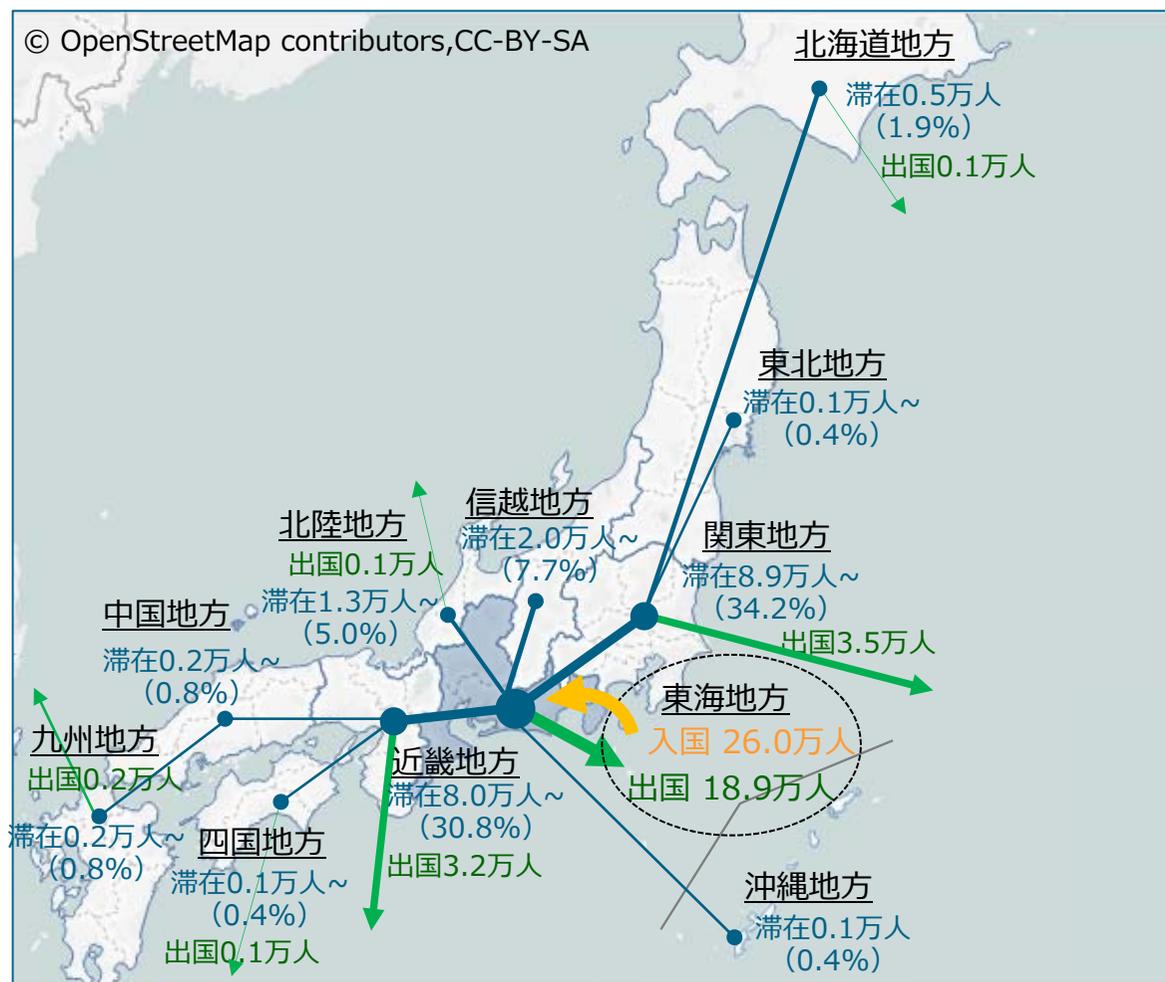
旅行者数	1.5万人 (100.0%)
狭域のみ移動者数	0.1万人 (6.7%)
広域移動者数	北陸戻り (入国=出国) 1.1万人 (73.3%)
	そのまま出国 (入国≠出国) 0.3万人 (20.0%)
滞在都道府県数 (1人あたり)	3.2

(国・地域)



- “狭域移動者”の旅行期間は“4日間”が多い。また、“関東”への滞在は“入国4日目”にピークを迎え、その多くが“5日目”までに“関東”から出国するか、“近畿”に更に移動（“近畿”への直接移動も並行）

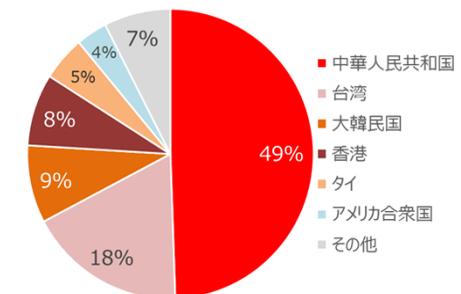
東海地方入国/旅行者の広域移動実態（2016年6-8月）



(移動実態まとめ)

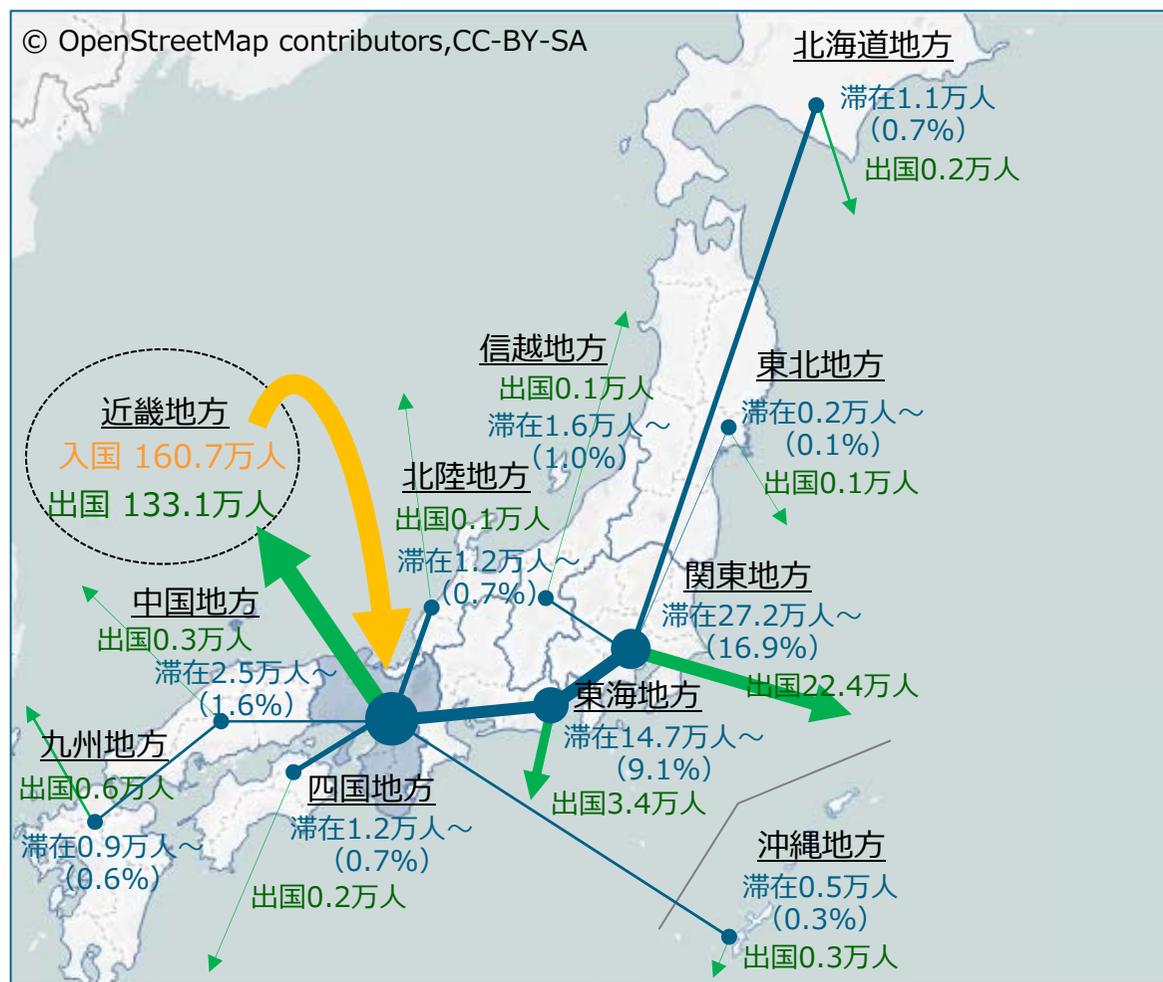
旅行者数	26.0万人 (100.0%)	
狭域のみ移動者数	7.2万人 (27.7%)	
広域移動者数	東海戻り (入国=出国)	11.6万人 (44.6%)
	そのまま出国 (入国≠出国)	7.2万人 (27.7%)
滞在都道府県数 (1人あたり)	3.6	

(国・地域)



- “狭域移動者”の旅行期間は“4日間”が多い。また、“東海”への滞在が“入国3日目”、“関東”への滞在が“5日目”と順にピークを迎え、多くが“6日目”までに“関東”から出国する（中国・四国等への移動も並行）

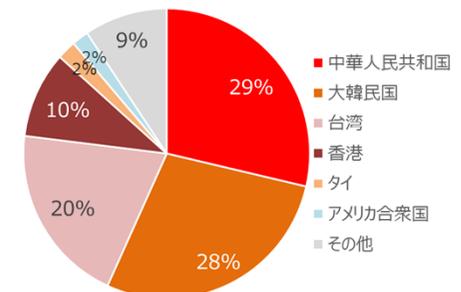
近畿地方入国/旅行者の広域移動実態（2016年6-8月）



(移動実態まとめ)

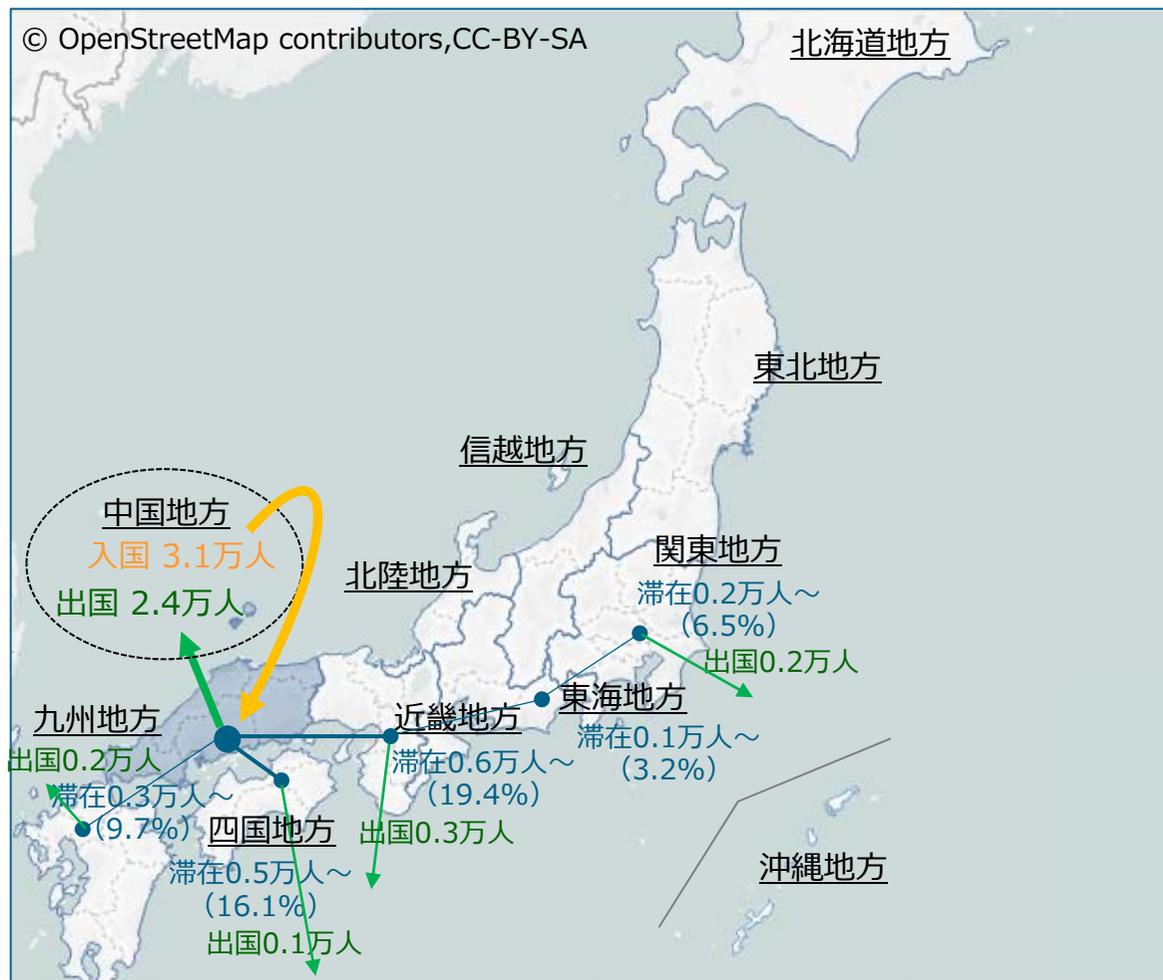
旅行者数	160.7万人 (100.0%)	
狭域のみ移動者数	113.6万人 (70.7%)	
広域移動者数	近畿戻り (入国=出国)	19.4万人 (12.1%)
	そのまま出国 (入国≠出国)	27.7万人 (17.2%)
滞在都道府県数 (1人あたり)	2.8	

(国・地域)



- “狭域移動者”の旅行期間は“5日間”が多い。また、“近畿”への滞在は“入国3日目”にピークを迎え、その半数が“5日目”までに、そのまま“近畿”から出国している（一部は、“関東・東海”へ更に移動）

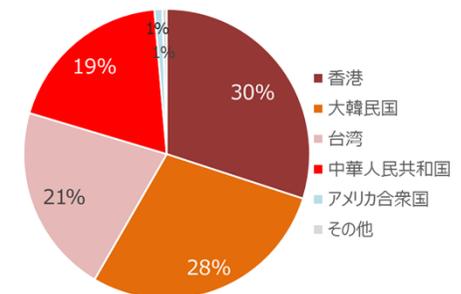
中国地方入国/旅行者の広域移動実態（2016年6-8月）



(移動実態まとめ)

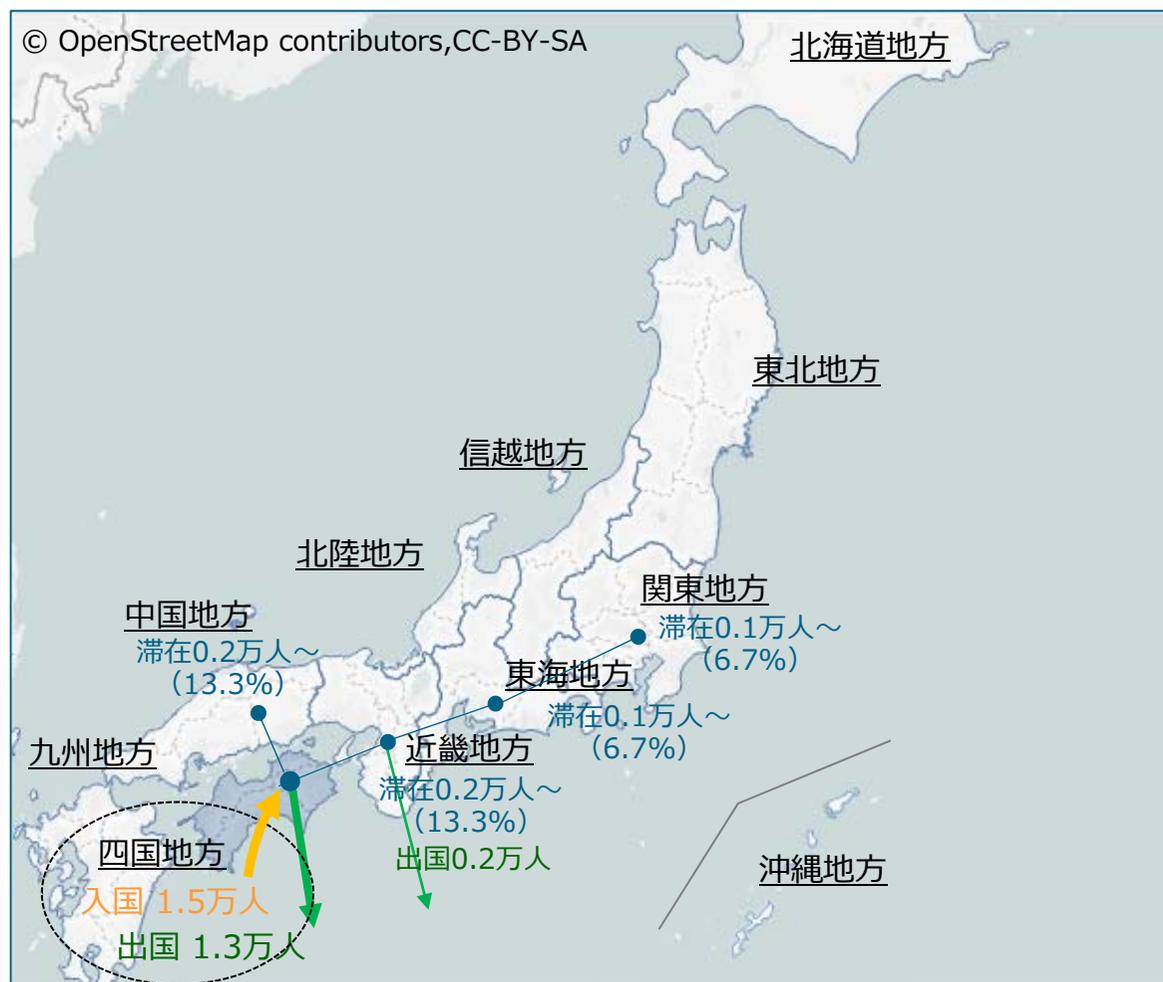
旅行者数	3.1万人 (100.0%)	
狭域のみ移動者数	1.5万人 (48.4%)	
広域移動者数	中国戻り (入国=出国)	0.8万人 (25.8%)
	そのまま出国 (入国≠出国)	0.8万人 (25.8%)
滞在都道府県数 (1人あたり)	2.8	

(国・地域)



- “狭域移動者”の旅行期間は“4日間”が多い。また、“近畿”への滞在は“入国2日目”にピークを迎え、その多くが“4日目”までに、そのまま“近畿”から出国している（一部は、“関東・東海”へ更に移動）

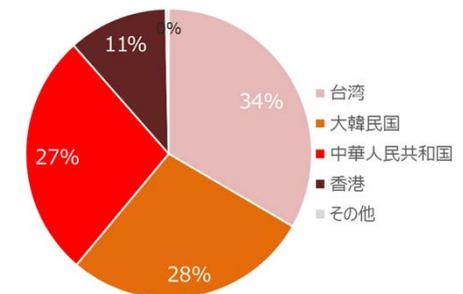
四国地方入国/旅行者の広域移動実態（2016年6-8月）



(移動実態まとめ)

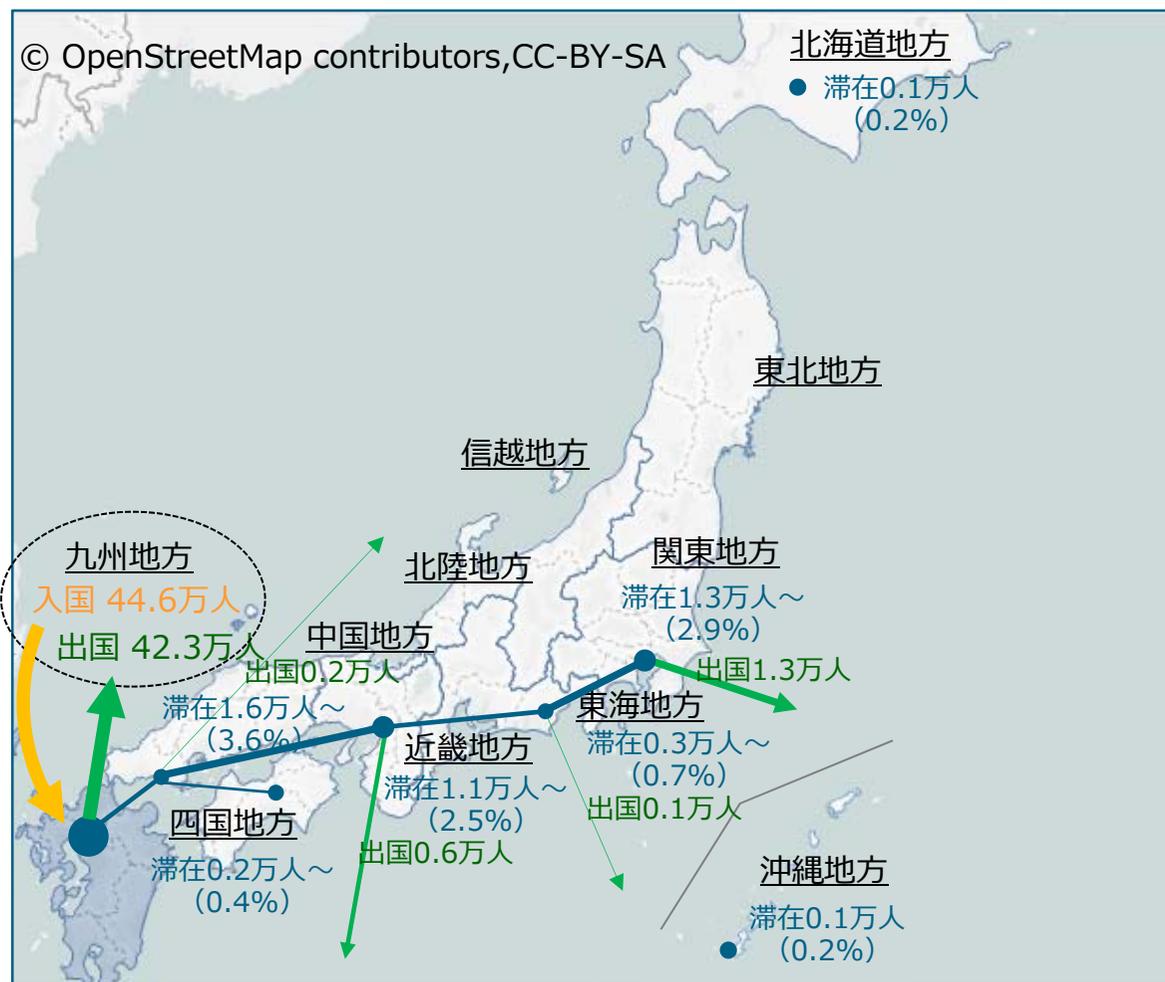
旅行者数	1.5万人 (100.0%)	
狭域のみ移動者数	0.9万人 (60.0%)	
広域移動者数	四国戻り (入国=出国)	0.4万人 (26.7%)
	そのまま出国 (入国≠出国)	0.2万人 (13.3%)
滞在都道府県数 (1人あたり)	2.5	

(国・地域)



- “狭域移動者”の旅行期間は“4日間”が多い。また、“近畿”滞在は“入国4日目”にピークを迎える。“関東”への滞在は“5日目”にピークを迎え、その多くが“8日目”までにそのまま“関東”から出国する

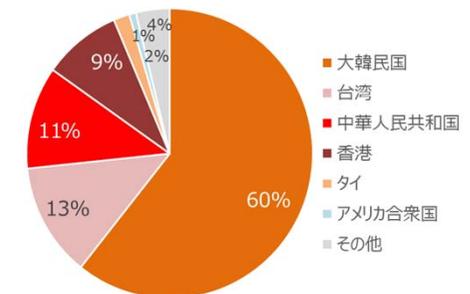
九州地方入国/旅行者の広域移動実態 (2016年6-8月)



(移動実態まとめ)

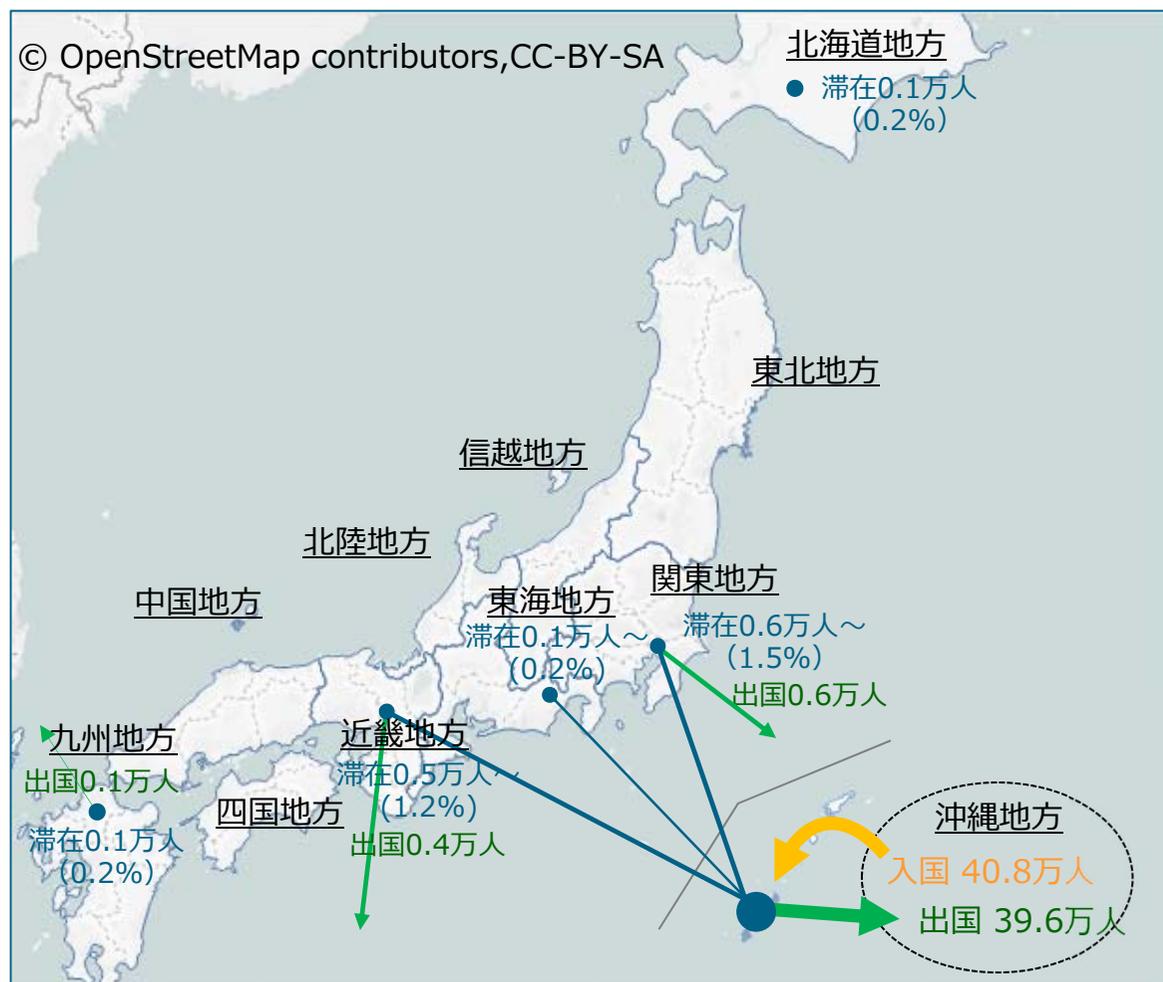
旅行者数	44.6万人 (100.0%)	
狭域のみ移動者数	40.1万人 (89.9%)	
広域移動者数	九州戻り (入国=出国)	2.3万人 (5.2%)
	そのまま出国 (入国≠出国)	2.2万人 (4.9%)
滞在都道府県数 (1人あたり)	1.9	

(国・地域)



- “狭域移動者”の旅行期間は“4日間”が多い。また、“関東・近畿”への滞在はいずれも“入国4日目”にピークを迎え、これら広域移動者の多くが“8日目”までに“関東・近畿”からそのまま出国する

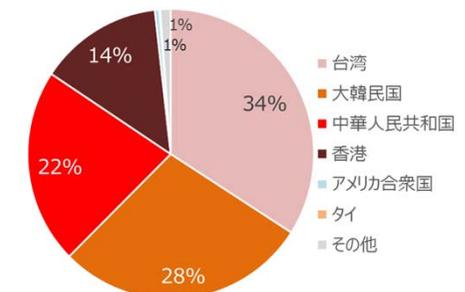
沖縄地方入国/旅行者の広域移動実態 (2016年6-8月)



(移動実態まとめ)

旅行者数	40.8万人 (100.0%)	
狭域のみ移動者数	39.6万人 (97.1%)	
広域移動者数	沖縄戻り (入国=出国)	0.1万人 (0.2%)
	そのまま出国 (入国≠出国)	1.1万人 (2.7%)
滞在都道府県数 (1人あたり)	1.1	

(国・地域)



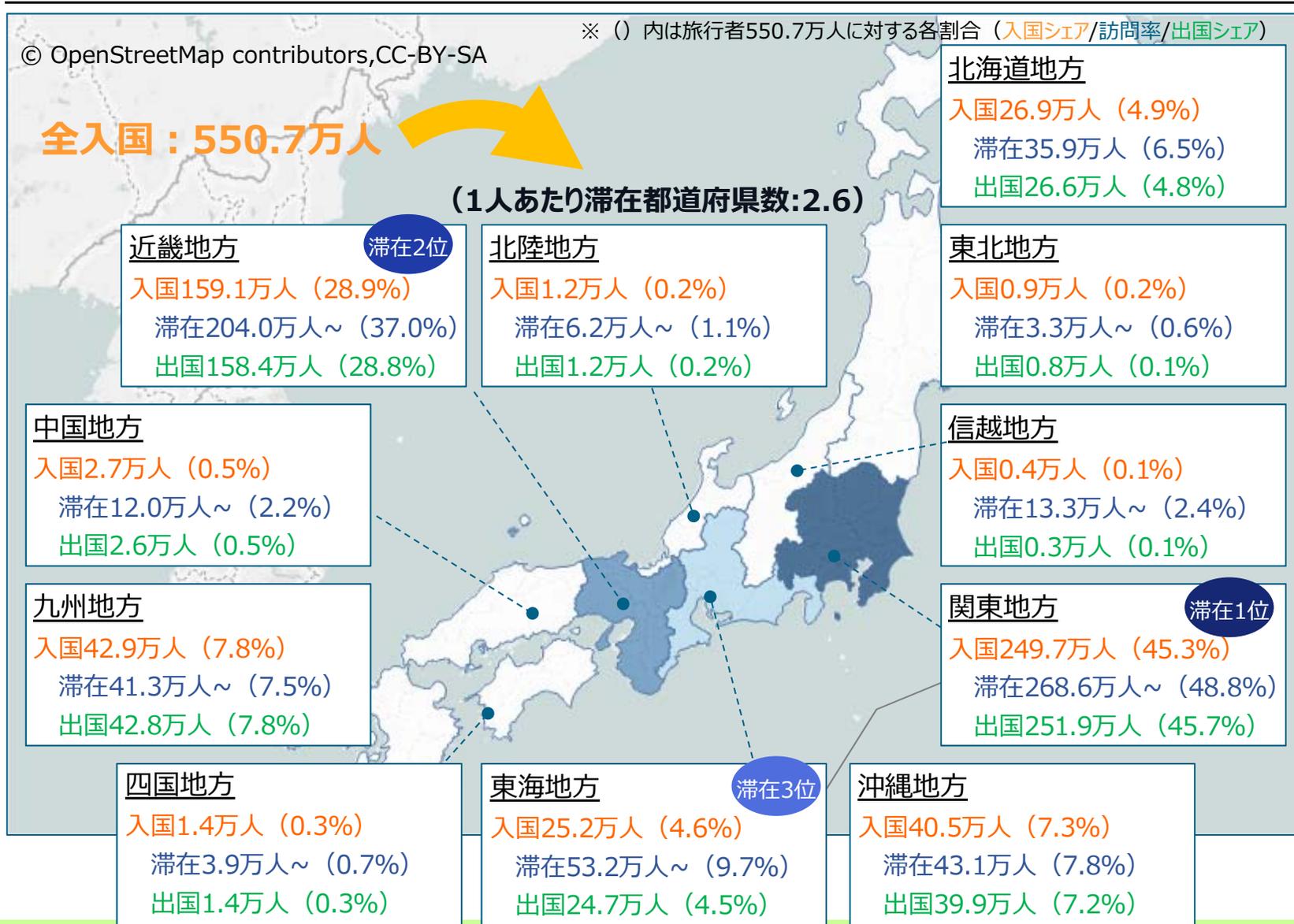
- 広域移動者の“数”が多いのは“**関東**”と“**近畿**”入国者。また、“割合”は本州中心部に位置する“**信越**”・“**北陸**”・“**東海**”が多い。一方、“**北海道**”・“**沖縄**”・“**九州**”は、狭域のみの移動者が非常に多い

入国区域	旅行者数	滞在都道府県数 (1人あたり)	狭域のみ 移動者数	広域 移動者数	広域移動の実態		広域移動の特徴
					戻って 出国	そのまま 出国	
北海道	27.4万人 (100%)	1.1	25.7万人 (93.8%)	1.7万人 (6.2%)	0.1万人 (0.4%)	1.6万人 (5.8%)	<ul style="list-style-type: none"> 入国6日目が、関東・近畿滞在のピークで、多くが8日目までに出国。東北へは隣接する“青森県”が主
東北	1.0万人 (100%)	2.5	0.6万人 (60.0%)	0.4万人 (40.0%)	0.1万人 (10.0%)	0.3万人 (30.0%)	<ul style="list-style-type: none"> 入国3日目が、関東滞在のピークで、多くは5日目までにそのまま出国（4日目以降に近畿へ一部が移動）
関東	253.0万人 (100%)	2.9	156.8万人 (62.0%)	96.2万人 (38.0%)	68.7万人 (27.2%)	27.5万人 (10.9%)	<ul style="list-style-type: none"> 入国3~4日目が、北海道・東北滞在の移動のピーク。他は信越→北陸、東海→近畿と徐々に広がる
信越	0.4万人 (100%)	3.5	0.0万人 (0.0%)	0.4万人 (100.0%)	0.2万人 (50.0%)	0.2万人 (50.0%)	<ul style="list-style-type: none"> 入国3日目が、関東滞在のピークで、多くが4日目までに信越に戻る（一部は東海・近畿に移動）
北陸	1.5万人 (100%)	3.2	0.1万人 (6.7%)	1.4万人 (93.3%)	1.1万人 (73.3%)	0.3万人 (20.0%)	<ul style="list-style-type: none"> 入国3日目に信越滞在がピークを迎えた後、関東へ広がり北陸へ戻る（東海・近畿への移動も並行）

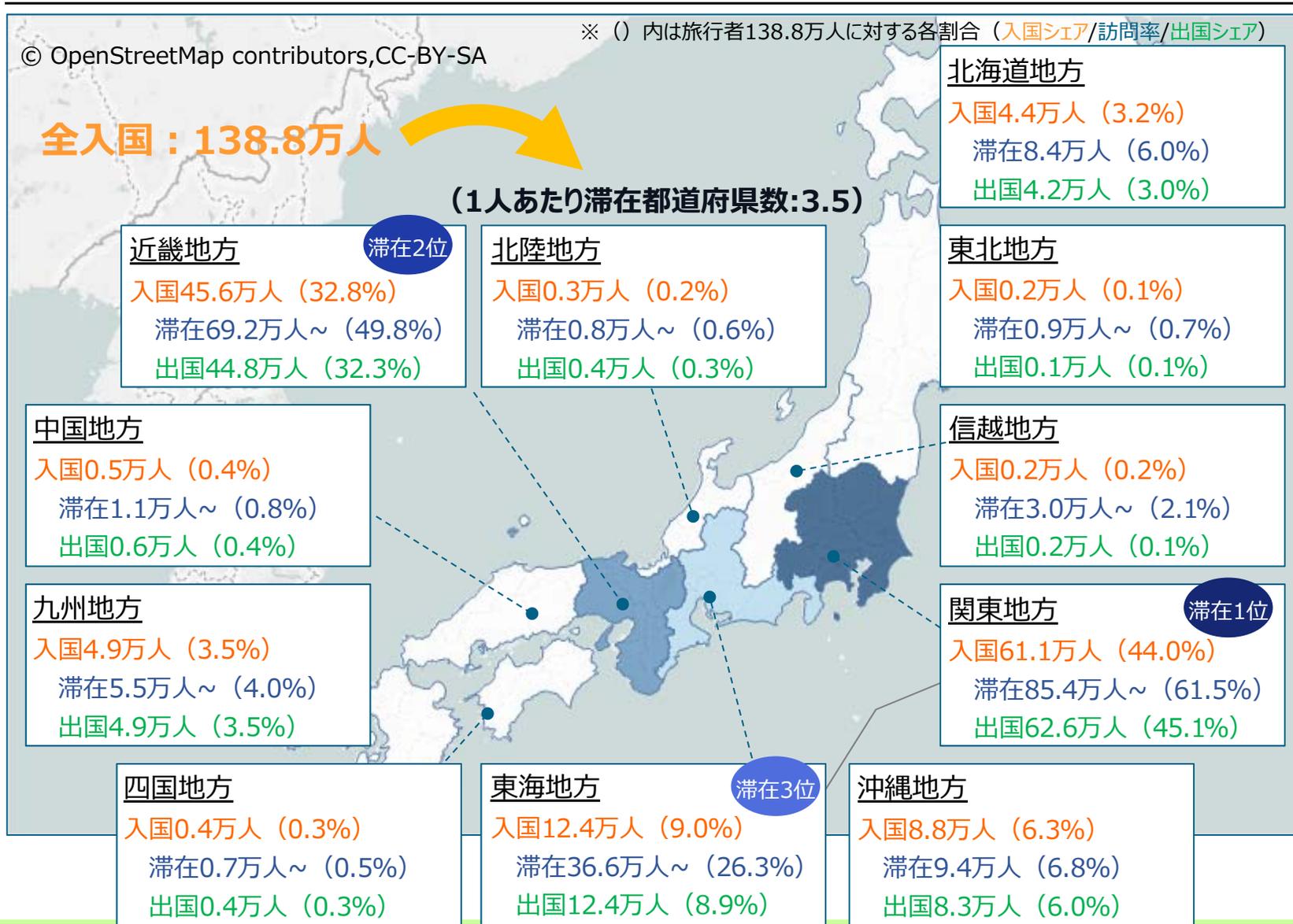
■ (つづき)

入国区域	旅行者数	滞在都道府県数 (1人あたり)	狭域のみ 移動者数	広域 移動者数	広域移動の実態		広域移動の特徴
					戻って 出国	そのまま 出国	
東海	26.0万人 (100%)	3.6	7.2万人 (27.7%)	18.8万人 (72.3%)	11.6万人 (44.6%)	7.2万人 (27.7%)	<ul style="list-style-type: none"> 入国4日目に関東滞在がピークを迎え、多くが5日目までに関東から出国するか、近畿へ回帰
近畿	160.7万人 (100%)	2.8	113.6万人 (70.7%)	47.1万人 (29.3%)	19.4万人 (12.1%)	27.7万人 (17.2%)	<ul style="list-style-type: none"> 入国3日目に東海滞在がピークを迎えた後、関東へ広がる。多くは、6日目までに関東から出国
中国	3.1万人 (100%)	2.8	1.5万人 (48.4%)	1.6万人 (51.6%)	0.8万人 (25.8%)	0.8万人 (25.8%)	<ul style="list-style-type: none"> 入国3日目に近畿滞在がピークを迎え、多くが5日目までに近畿から出国 (一部は関東・東海へ)
四国	1.5万人 (100%)	2.5	0.9万人 (60.0%)	0.6万人 (40.0%)	0.4万人 (26.7%)	0.2万人 (13.3%)	<ul style="list-style-type: none"> 入国2日目に近畿滞在がピークを迎え、多くが4日目までに近畿から出国 (一部は関東・東海へ)
九州	44.6万人 (100%)	1.9	40.1万人 (89.9%)	4.5万人 (10.1%)	2.3万人 (5.2%)	2.2万人 (4.9%)	<ul style="list-style-type: none"> 入国4日目が近畿滞生のピーク。5日目が関東滞生のピークで、多くが8日目までに関東から出国する
沖縄	40.8万人 (100%)	1.1	39.6万人 (97.1%)	1.2万人 (2.9%)	0.1万人 (0.2%)	1.1万人 (2.7%)	<ul style="list-style-type: none"> 入国4日目に関東・近畿への滞生がピークを迎え、その多くが8日目までに、そのまま出国する

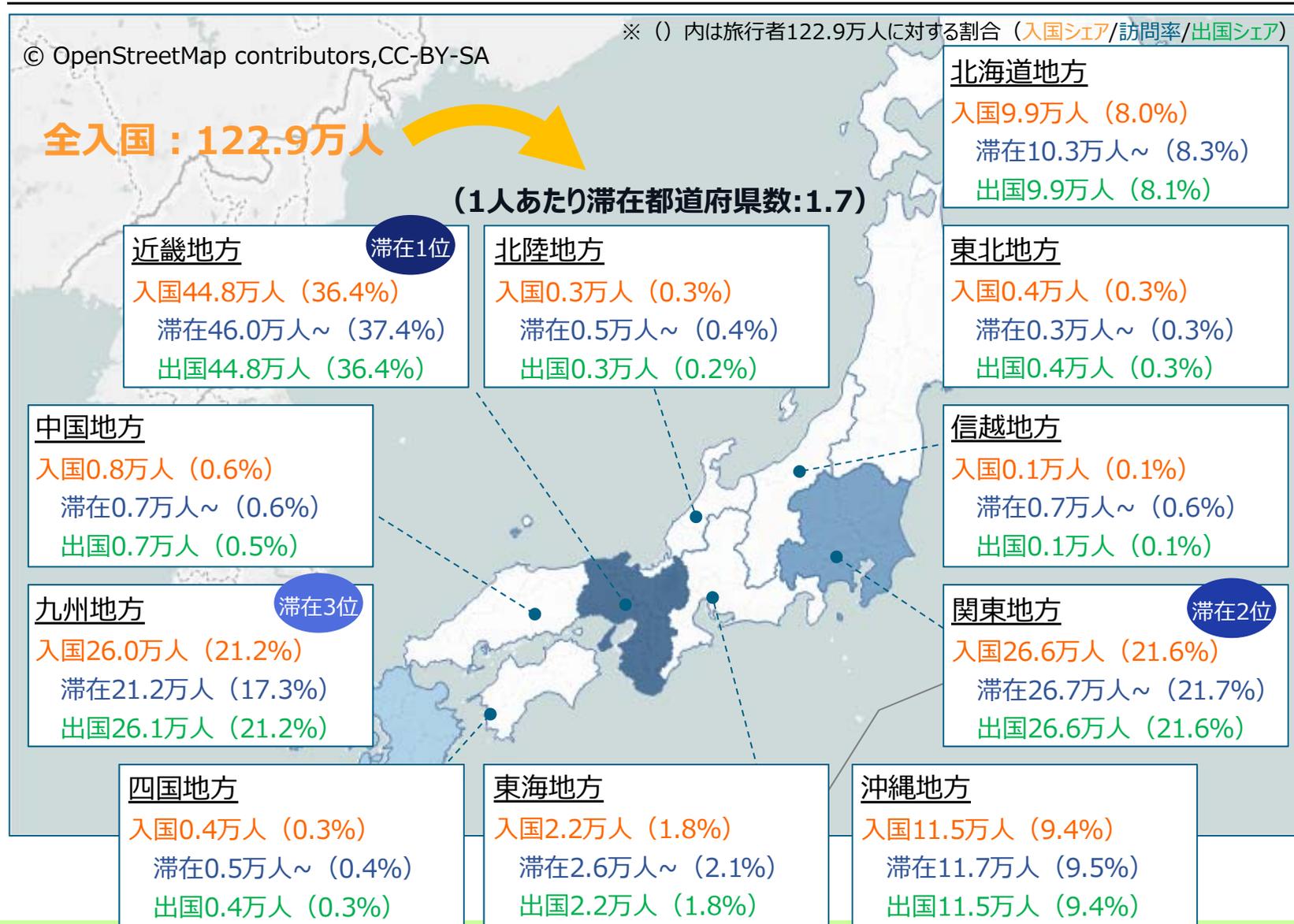
全ての国・地域／入国・滞在・出国区域分布（2016年6-8月）



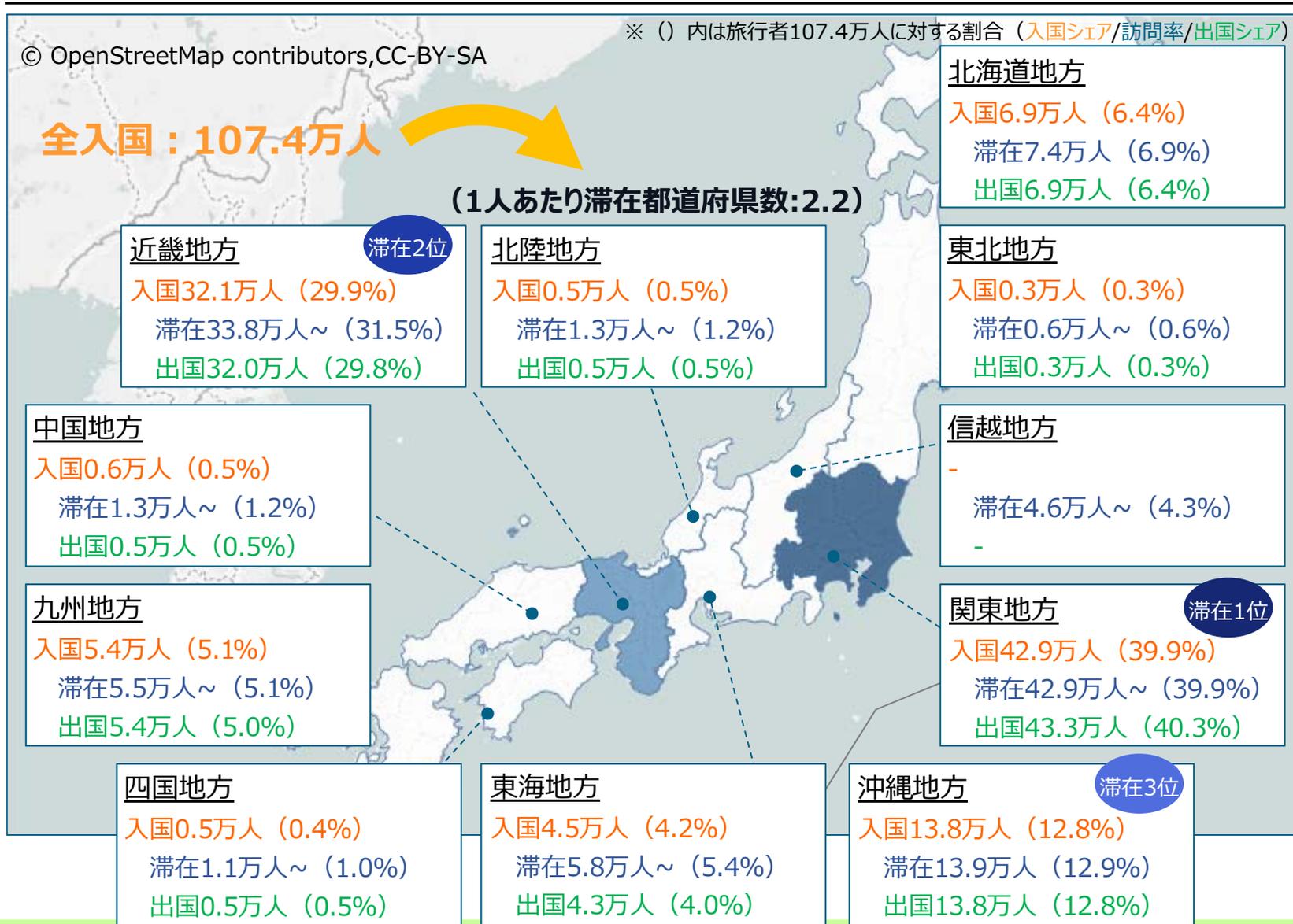
中華人民共和国／入国・滞在・出国区域分布（2016年6-8月）



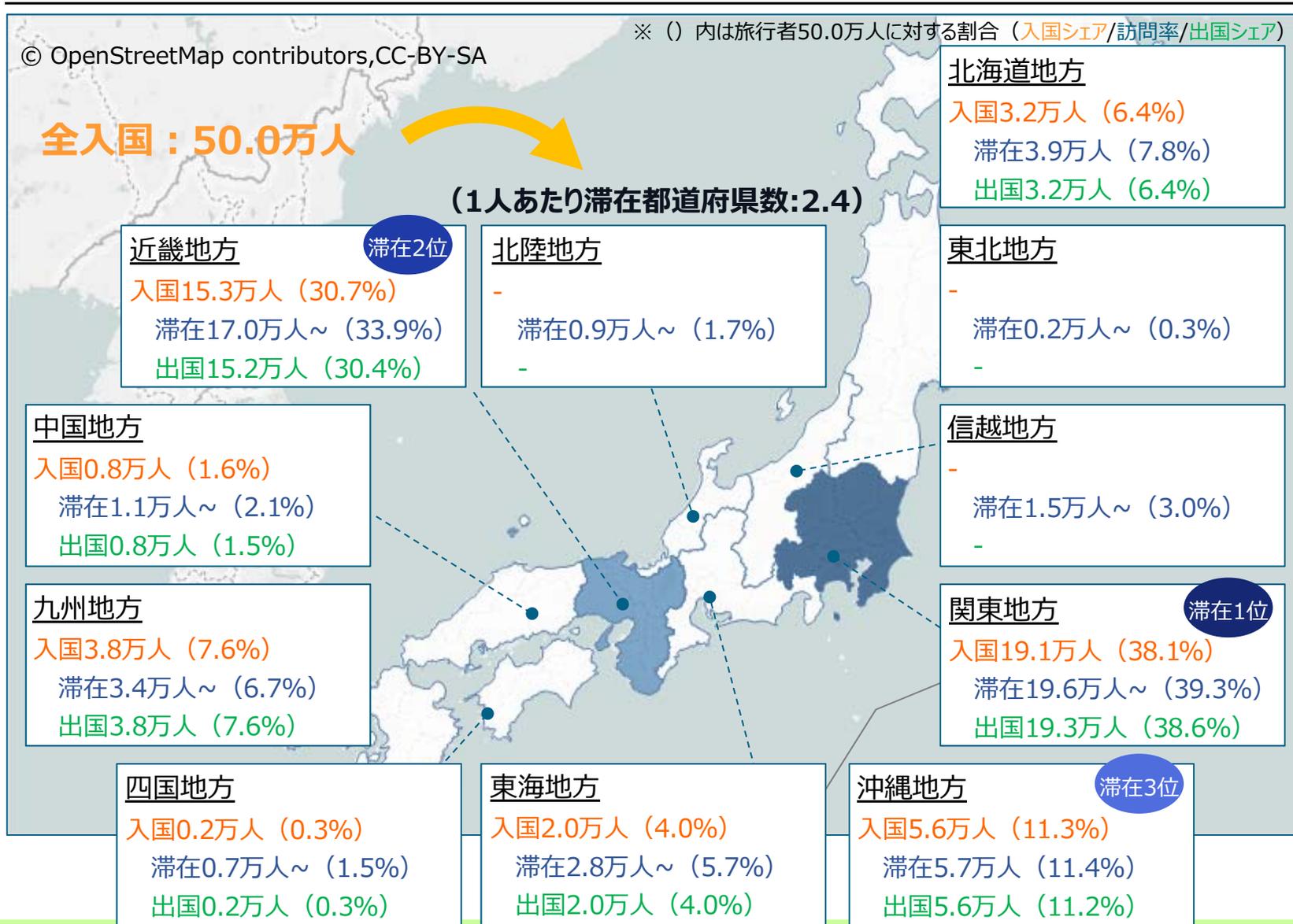
大韓民国／入国・滞在・出国区域分布（2016年6-8月）



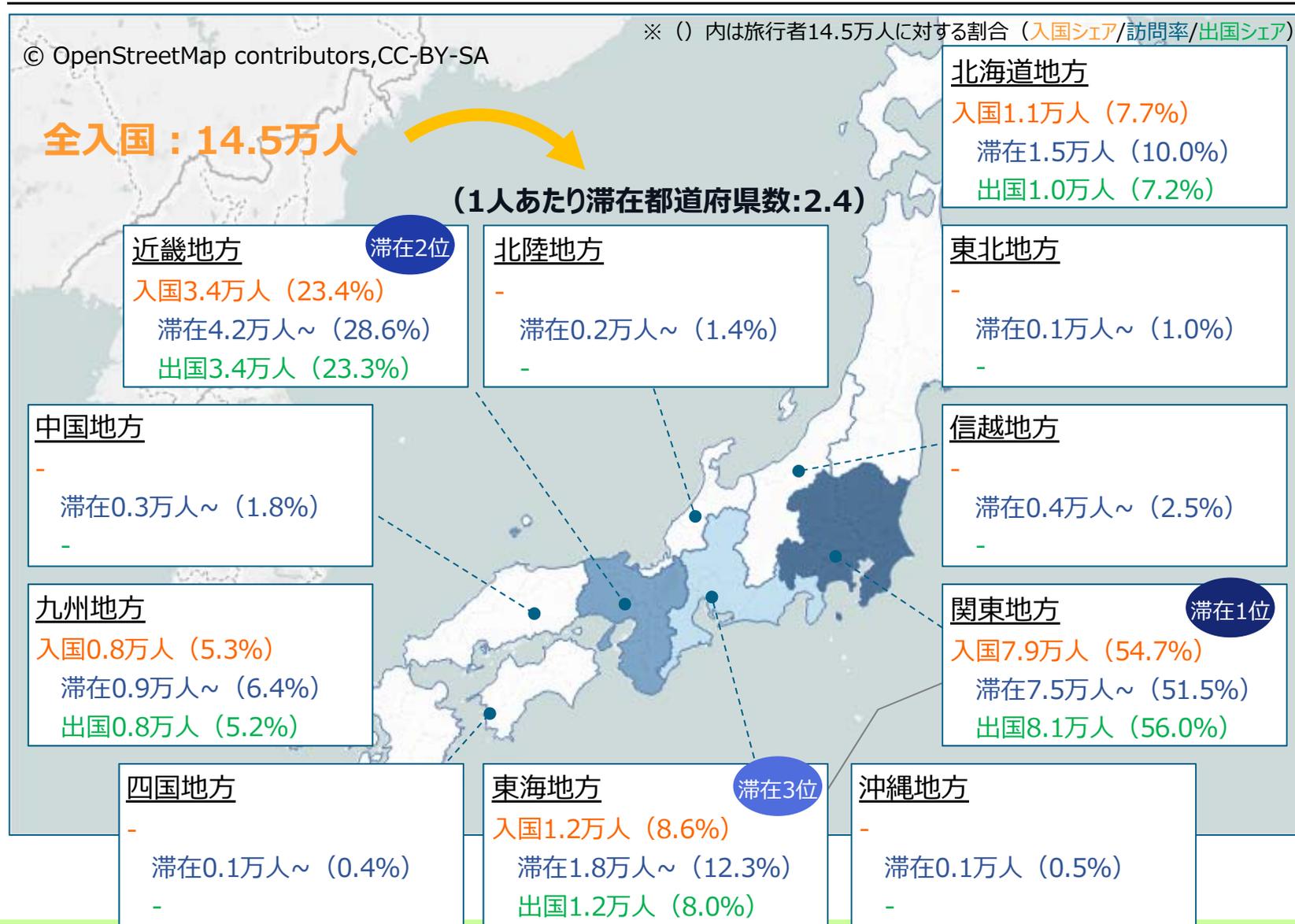
台湾／入国・滞在・出国区域分布（2016年6-8月）



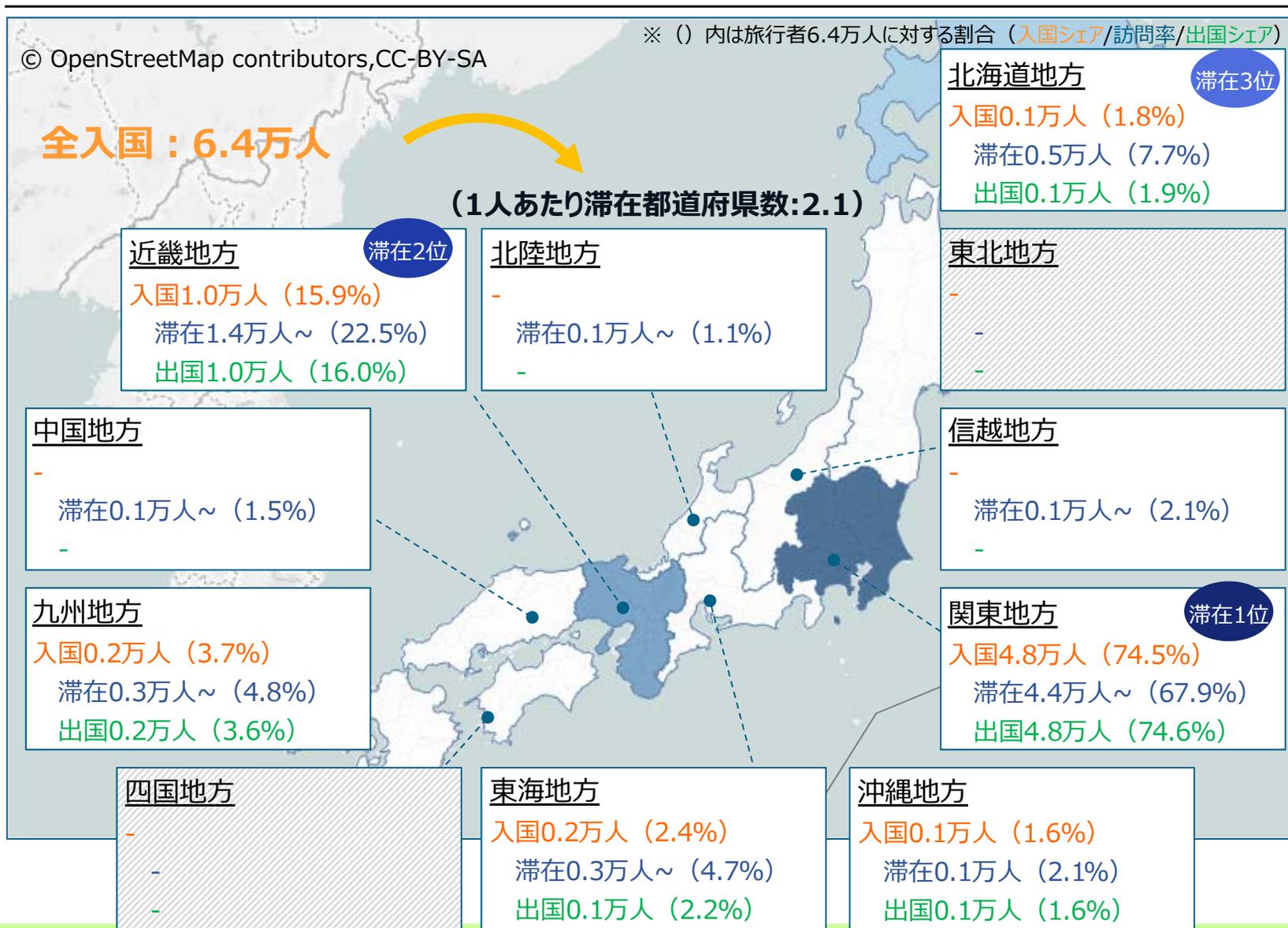
香港／入国・滞在・出国区域分布（2016年6-8月）



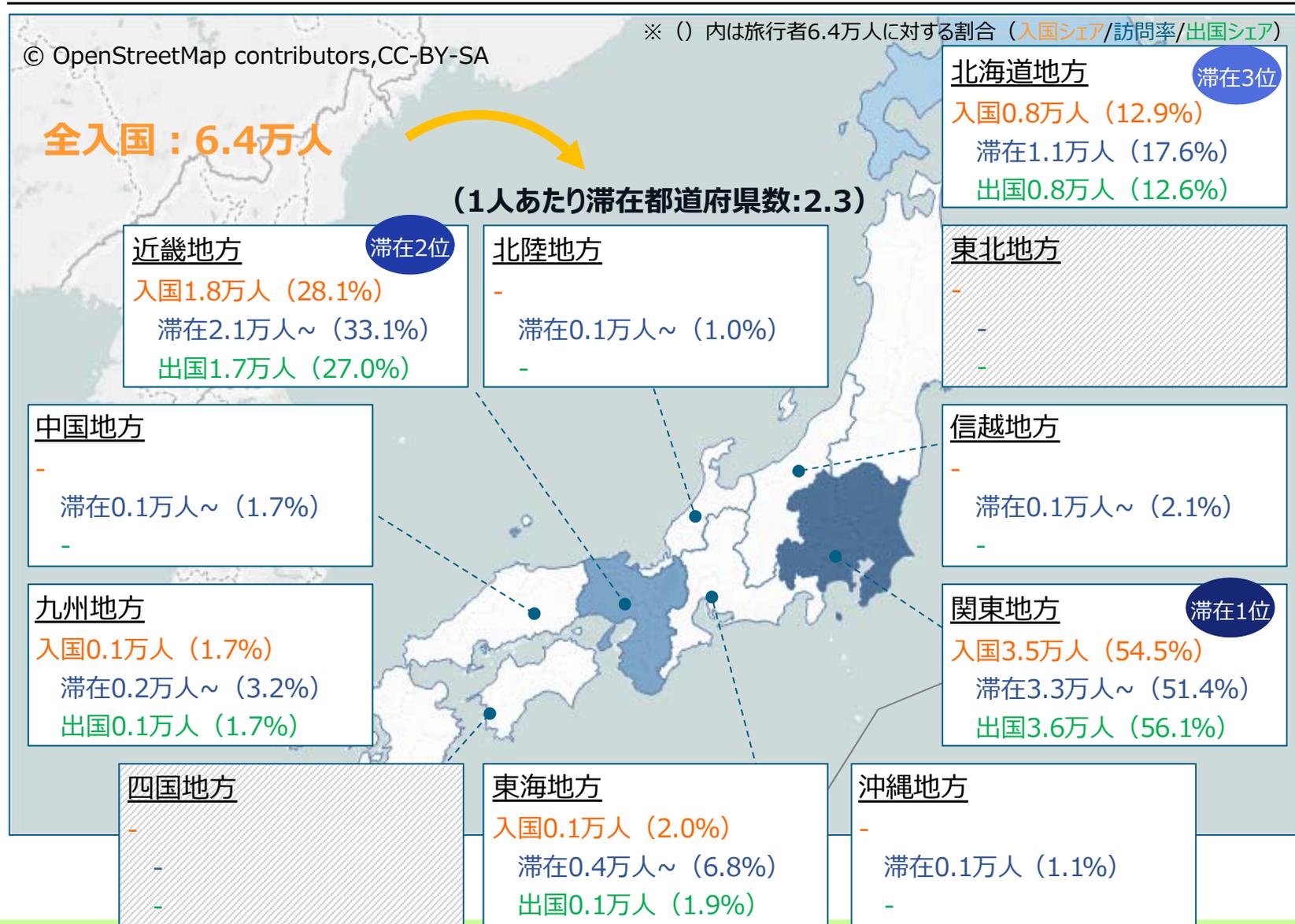
タイ／入国・滞在・出国区域分布（2016年6-8月）



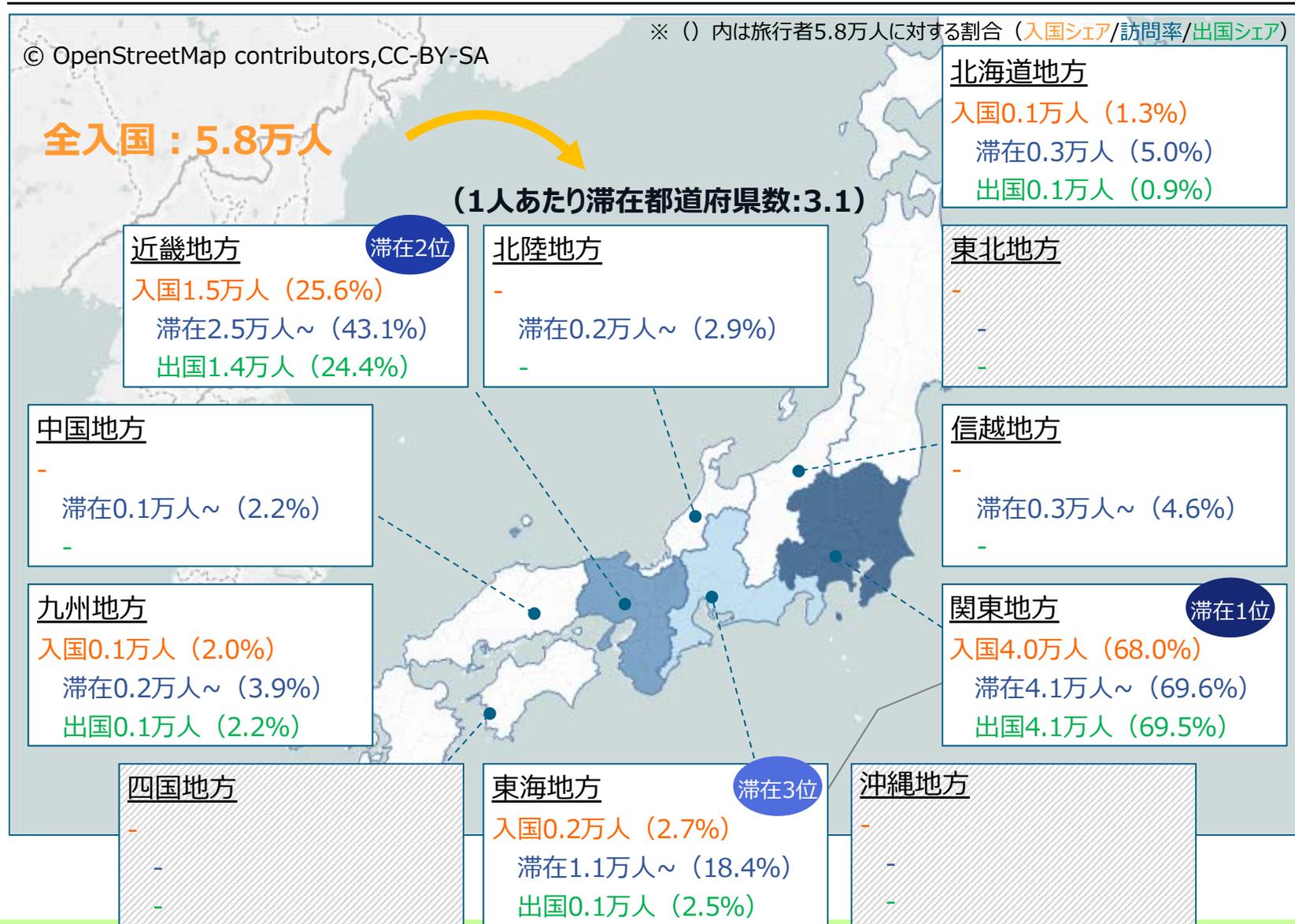
シンガポール／入国・滞在・出国区域分布（2016年6-8月）



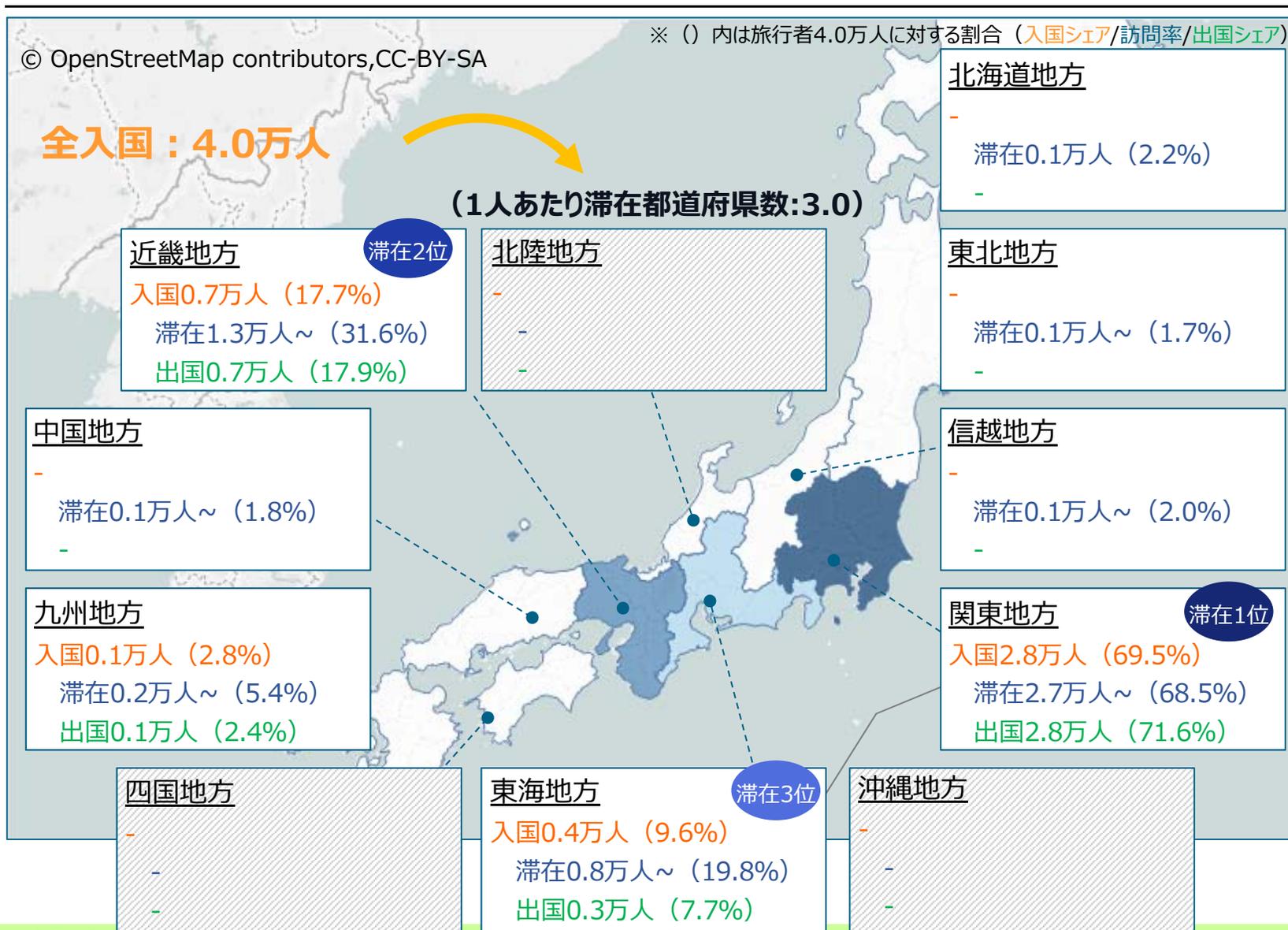
マレーシア／入国・滞在・出国区域分布（2016年6-8月）



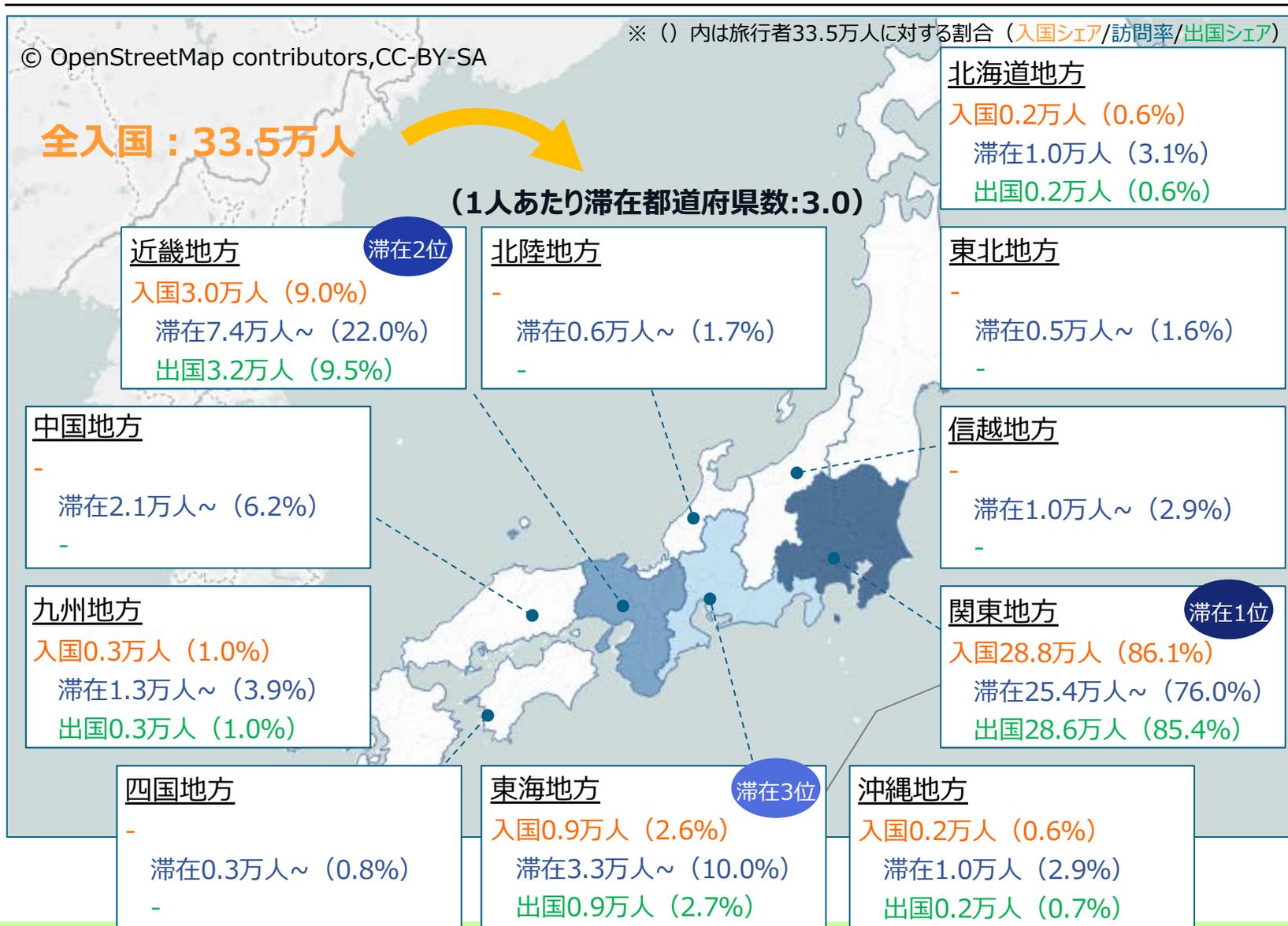
インドネシア／入国・滞在・出国区域分布（2016年6-8月）



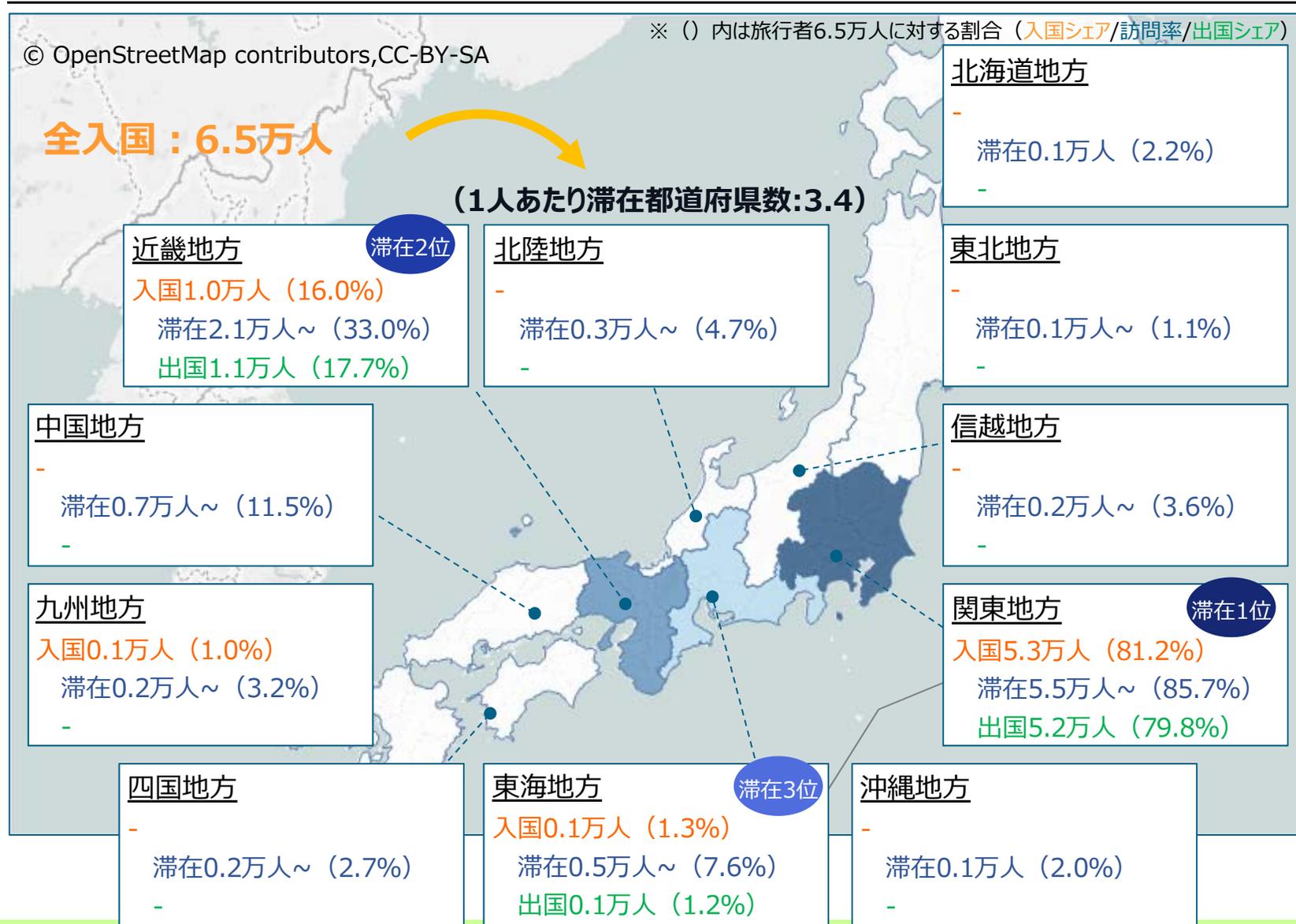
ベトナム／入国・滞在・出国区域分布（2016年6-8月）



アメリカ／入国・滞在・出国区域分布（2016年6-8月）



フランス／入国・滞在・出国区域分布（2016年6-8月）



- 国別※に見ると、“中国”・“アメリカ”・“フランス”は滞在都道府県数が多く、広域移動傾向が高い
- 移動傾向の低い“韓国”を除き関東が最多滞在区域だが、“台湾”・“香港”には、地方分散傾向が見られる
- “中国”・“アメリカ”からの旅行者に、“関東”での入国～滞在～出国者数に一定の増減が見られる

※モバイル契約国

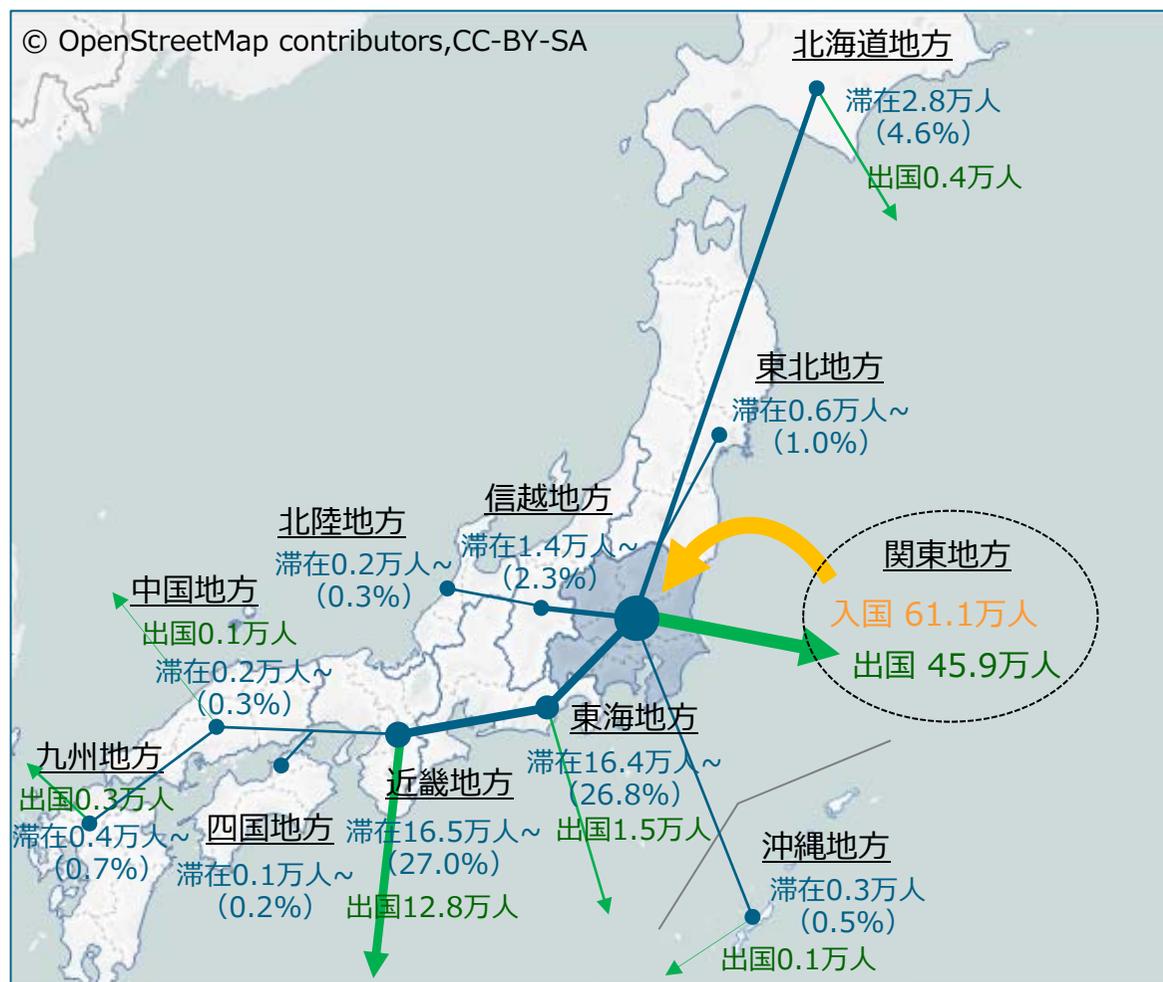
国・地域	旅行者数	滞在都道府県数 (1人あたり)	最多入国区域	最多滞在区域	最多出国区域
中国	138.8万人 (100.0%)	3.5	関東地方 61.1万人 (44.0%)	関東地方 85.4万人 (61.5%)	関東地方 62.6万人 (45.1%)
韓国	122.9万人 (100.0%)	1.7	近畿地方 44.8万人 (36.4%)	近畿地方 46.0万人 (37.4%)	近畿地方 44.8万人 (36.4%)
台湾	107.4万人 (100.0%)	2.2	関東地方 42.9万人 (39.9%)	関東地方 42.9万人 (39.9%)	関東地方 43.3万人 (40.3%)
香港	50.0万人 (100.0%)	2.4	関東地方 19.1万人 (38.1%)	関東地方 19.6万人 (39.3%)	関東地方 19.3万人 (38.6%)
タイ	14.5万人 (100.0%)	2.4	関東地方 7.9万人 (54.7%)	関東地方 7.5万人 (51.5%)	関東地方 8.1万人 (56.0%)

■（つづき）

国・地域	旅行者数	滞在 都道府県数 (1人あたり)	最多 入国区域	最多 滞在区域	最多 出国区域
シンガポール	6.4万人 (100.0%)	2.1	関東地方 4.8万人 (74.5%)	関東地方 4.4万人 (67.9%)	関東地方 4.8万人 (74.6%)
マレーシア	6.4万人 (100.0%)	2.3	関東地方 3.5万人 (54.5%)	関東地方 3.3万人 (51.4%)	関東地方 3.6万人 (56.1%)
インドネシア	5.8万人 (100.0%)	3.1	関東地方 4.0万人 (68.0%)	関東地方 4.1万人 (69.6%)	関東地方 4.1万人 (69.5%)
ベトナム	4.0万人 (100.0%)	3.0	関東地方 2.8万人 (69.5%)	関東地方 2.7万人 (68.5%)	関東地方 2.8万人 (71.6%)
アメリカ	33.5万人 (100.0%)	3.0	関東地方 28.8万人 (86.1%)	関東地方 25.4万人 (76.0%)	関東地方 28.6万人 (85.4%)
フランス	6.5万人 (100.0%)	3.4	関東地方 5.3万人 (81.2%)	関東地方 5.5万人 (85.7%)	関東地方 5.2万人 (79.8%)

- 狭域移動者の旅行期間は“5日間”が半数を占める。また、“北海道”への滞在は入国から“4日目”がピークとなる。また、“東海”は“4日目”、“近畿”は“5日目”、“九州”は“6日目”と順に滞在ピークを迎える

中華人民共和国・関東地方入国/旅行者の広域移動実態（2016年6-8月）



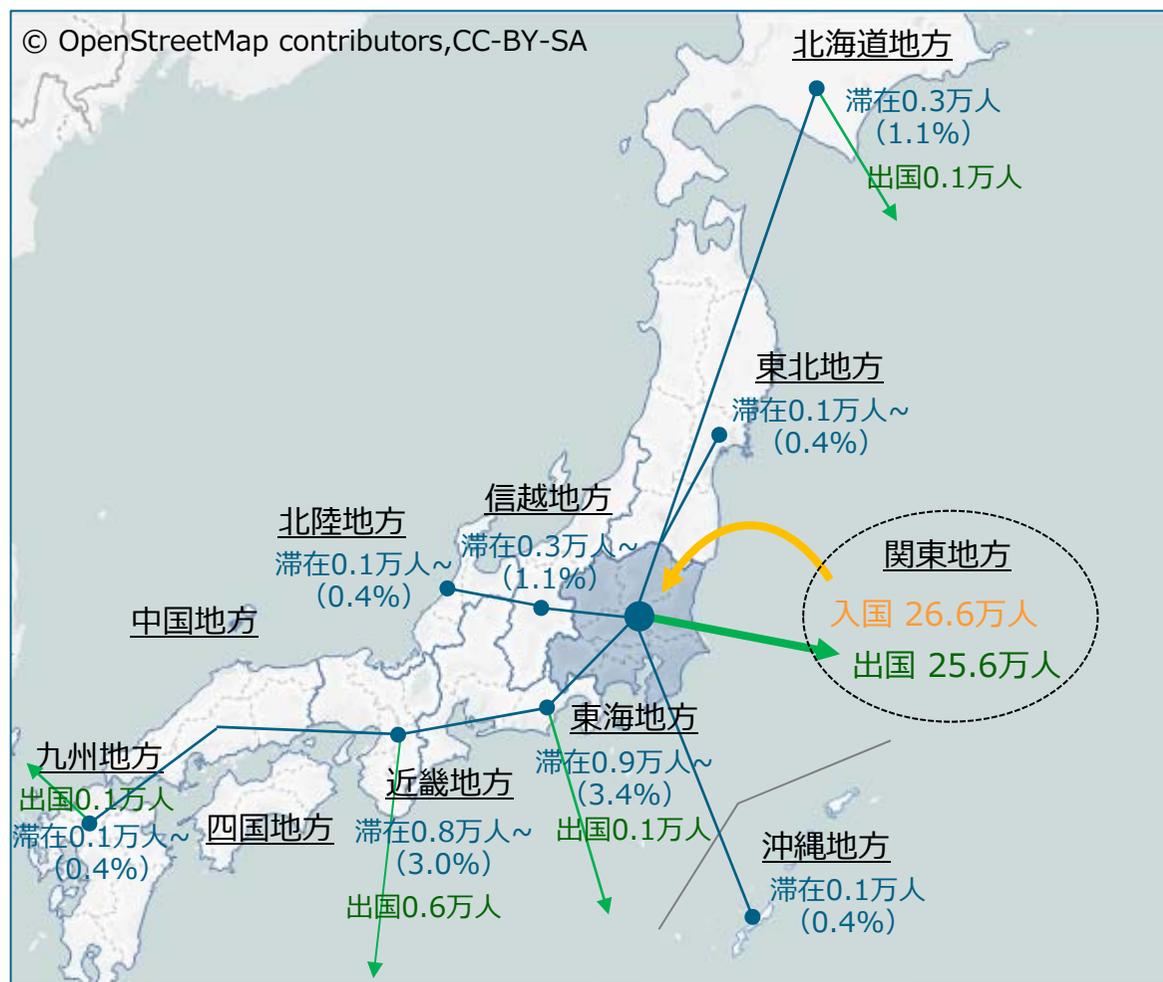
(移動実態まとめ)

旅行者数	61.1万人 (100.0%)	
狭域のみ移動者数	24.6万人 (40.3%)	
広域移動者数	関東戻り (入国=出国)	21.3万人 (34.9%)
	そのまま出国 (入国≠出国)	15.2万人 (24.9%)
滞在都道府県数 (1人あたり)	3.5	

滞在区域	滞在ピーク	平均滞在期間
北海道	4日目	4.5日間
東北	2日目	2.6日間
関東	2日目	4.2日間
信越	3日目	2.3日間
北陸	4日目	2.5日間
東海	4日目	1.6日間
近畿	5日目	2.5日間
中国	3日目	2.1日間
四国	4日目	3.3日間
九州	6日目	2.4日間
沖縄	4日目	3.4日間

- 狭域移動者の旅行期間は“4日間”が半数を占める。また、“北海道”への滞在は入国から“4日目”がピークとなる。また、“東海”は“3日目”、“近畿”は“4日目”と順に滞在ピークを迎える

大韓民国・関東地方入国/旅行者の広域移動実態（2016年6-8月）



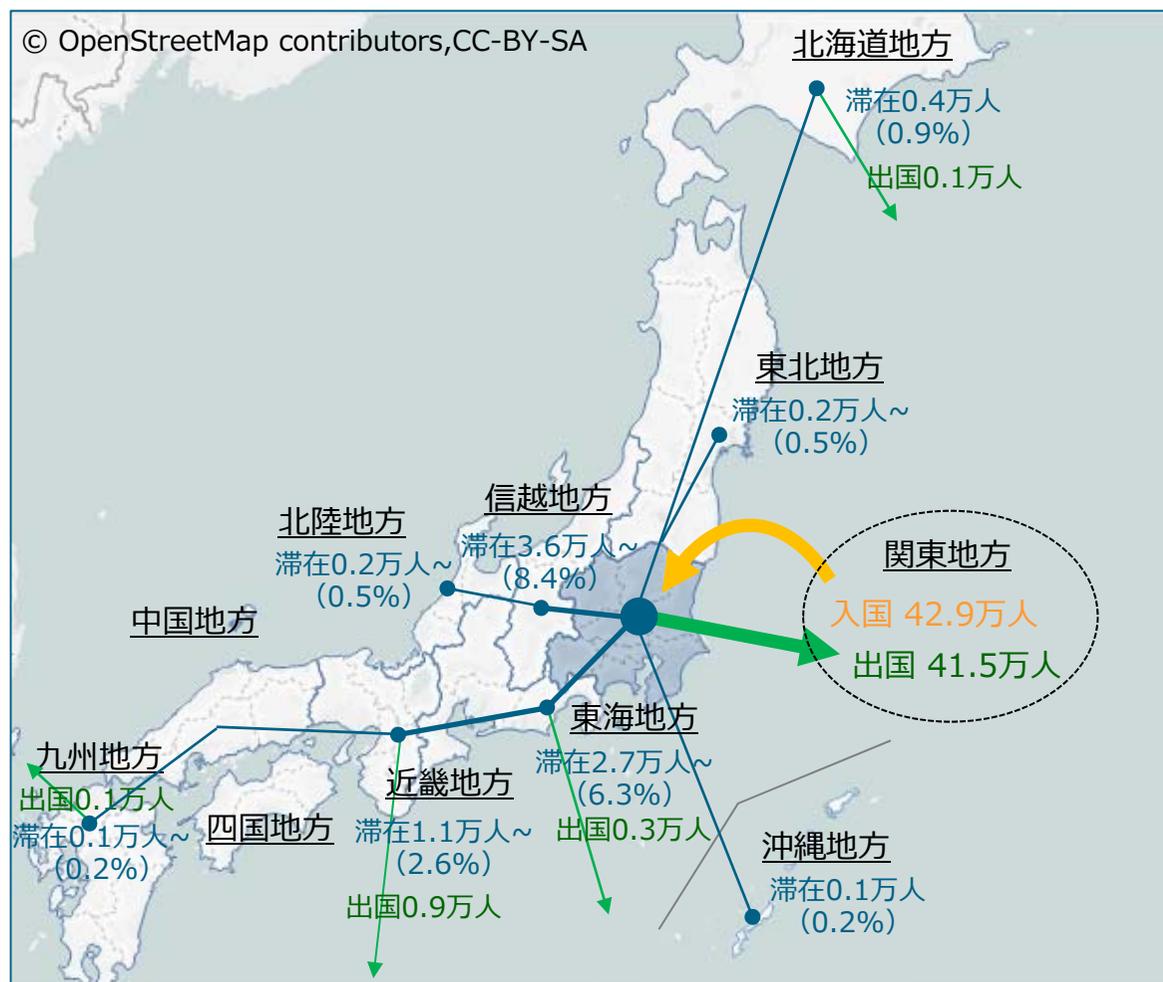
(移動実態まとめ)

旅行者数	26.6万人 (100.0%)	
狭域のみ移動者数	24.0万人 (90.2%)	
広域移動者数	関東戻り (入国=出国)	1.7万人 (6.4%)
	そのまま出国 (入国≠出国)	0.9万人 (3.4%)
滞在都道府県数 (1人あたり)	2.1	

滞在区域	滞在ピーク	平均滞在期間
北海道	4日目	4.6日間
東北	2日目	2.7日間
関東	1日目	3.9日間
信越	2日目	2.9日間
北陸	2日目	1.9日間
東海	3日目	1.9日間
近畿	4日目	2.6日間
中国	N/A	N/A
四国	N/A	N/A
九州	3日目	1.8日間
沖縄	4日目	3.7日間

- 狭域移動者の旅行期間は“5日間”が半数を占める。また、“北海道”への滞在は入国から“4日目”がピークとなる。また、“東海”は“3日目”、“近畿”は“5日目”と順に滞在ピークを迎える

台湾・関東地方入国/旅行者の広域移動実態（2016年6-8月）



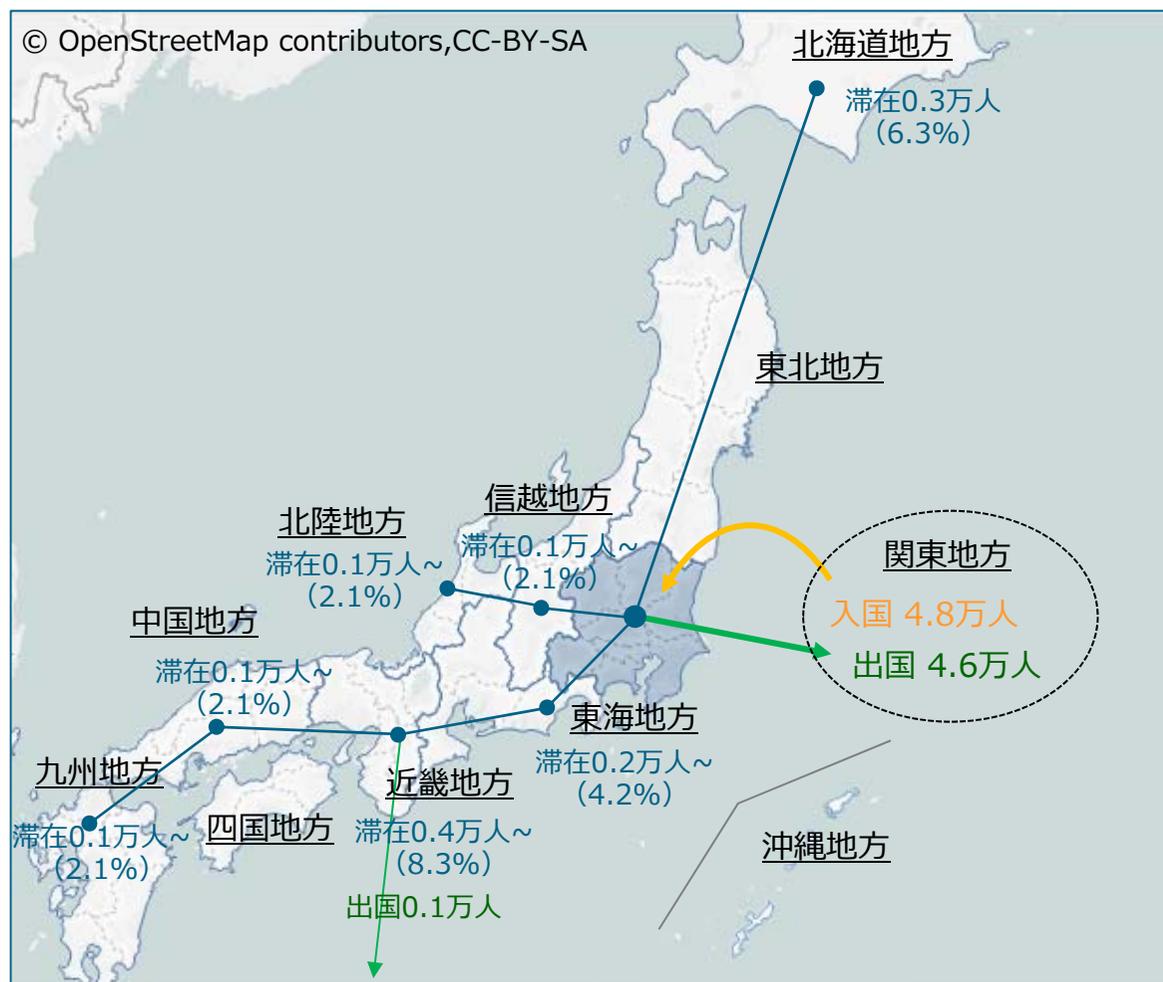
(移動実態まとめ)

旅行者数	42.9万人 (100.0%)	
狭域のみ移動者数	34.6万人 (80.7%)	
広域移動者数	関東戻り (入国=出国)	6.9万人 (16.1%)
	そのまま出国 (入国≠出国)	1.4万人 (3.3%)
滞在都道府県数 (1人あたり)	2.4	

滞在区域	滞在ピーク	平均滞在期間
北海道	4日目	4.4日間
東北	3日目	2.0日間
関東	2日目	4.1日間
信越	3日目	1.7日間
北陸	3日目	1.3日間
東海	3日目	2.0日間
近畿	5日目	2.7日間
中国	N/A	N/A
四国	N/A	N/A
九州	N/A	N/A
沖縄	N/A	N/A

- 狭域移動者の旅行期間は“4日間”が半数を占める。また、“北海道”への滞在は入国から“4日目”がピークとなる。また、“東海”は“2日目”、“近畿”は“3日目”、“九州”は“4日目”と順に滞在ピークを迎える

シンガポール・関東地方入国/旅行者の広域移動実態（2016年6-8月）



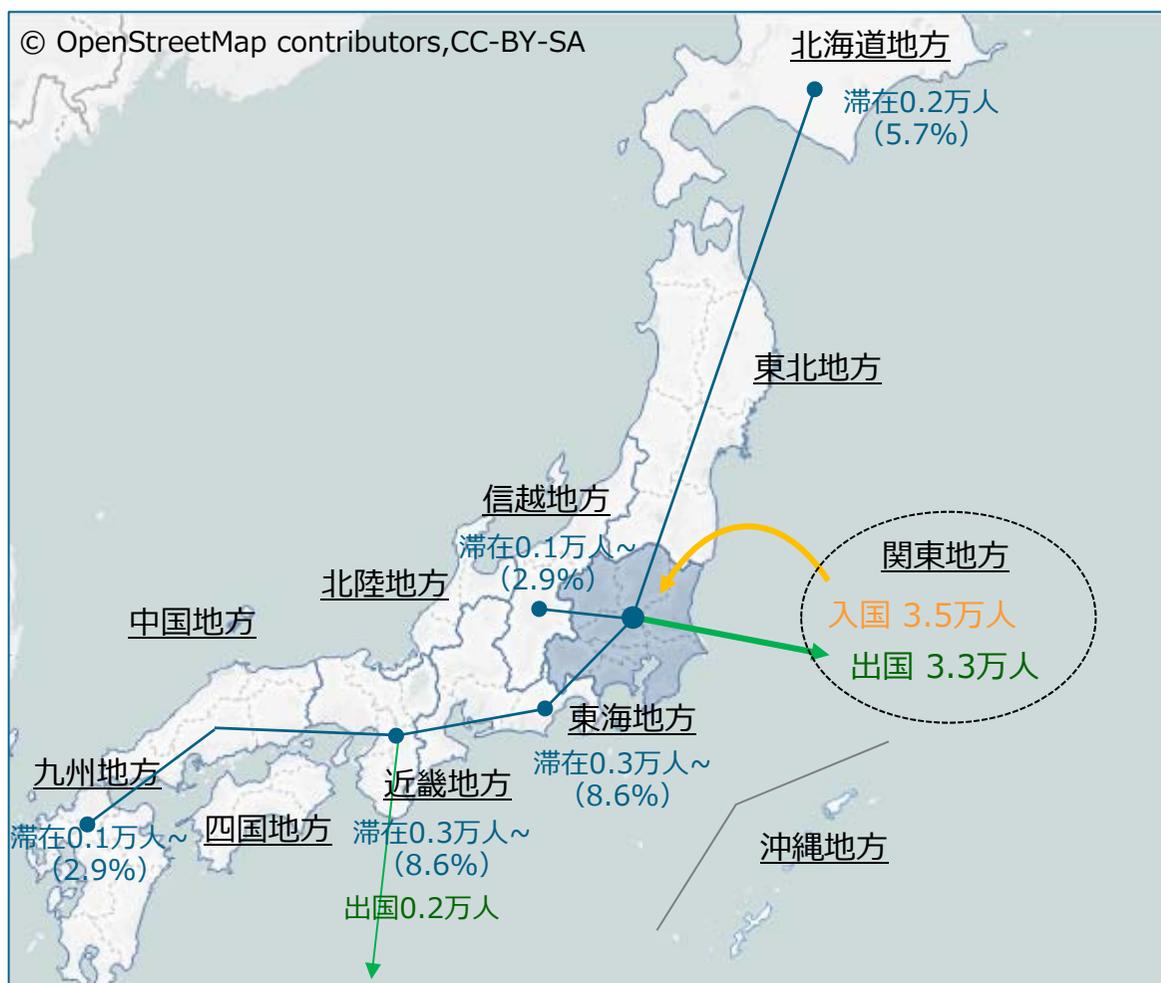
(移動実態まとめ)

旅行者数	4.8万人 (100.0%)	
狭域のみ移動者数	3.5万人 (72.9%)	
広域移動者数	関東戻り (入国=出国)	1.2万人 (25.0%)
	そのまま出国 (入国≠出国)	0.1万人 (2.1%)
滞在都道府県数 (1人あたり)	2.2	

滞在区域	滞在ピーク	平均滞在期間
北海道	4日目	6.5日間
東北	N/A	N/A
関東	1日目	4.2日間
信越	3日目	2.7日間
北陸	4日目	2.1日間
東海	2日目	1.9日間
近畿	3日目	2.8日間
中国	3日目	2.3日間
四国	N/A	N/A
九州	4日目	2.5日間
沖縄	N/A	N/A

- 狭域移動者の旅行期間は“5日間”が半数を占める。また、“北海道”への滞在は入国から“4日目”がピークとなる。また、“東海”は“3日目”、“近畿”は“5日目”と順に滞在ピークを迎える

マレーシア・関東地方入国/旅行者の広域移動実態（2016年6-8月）



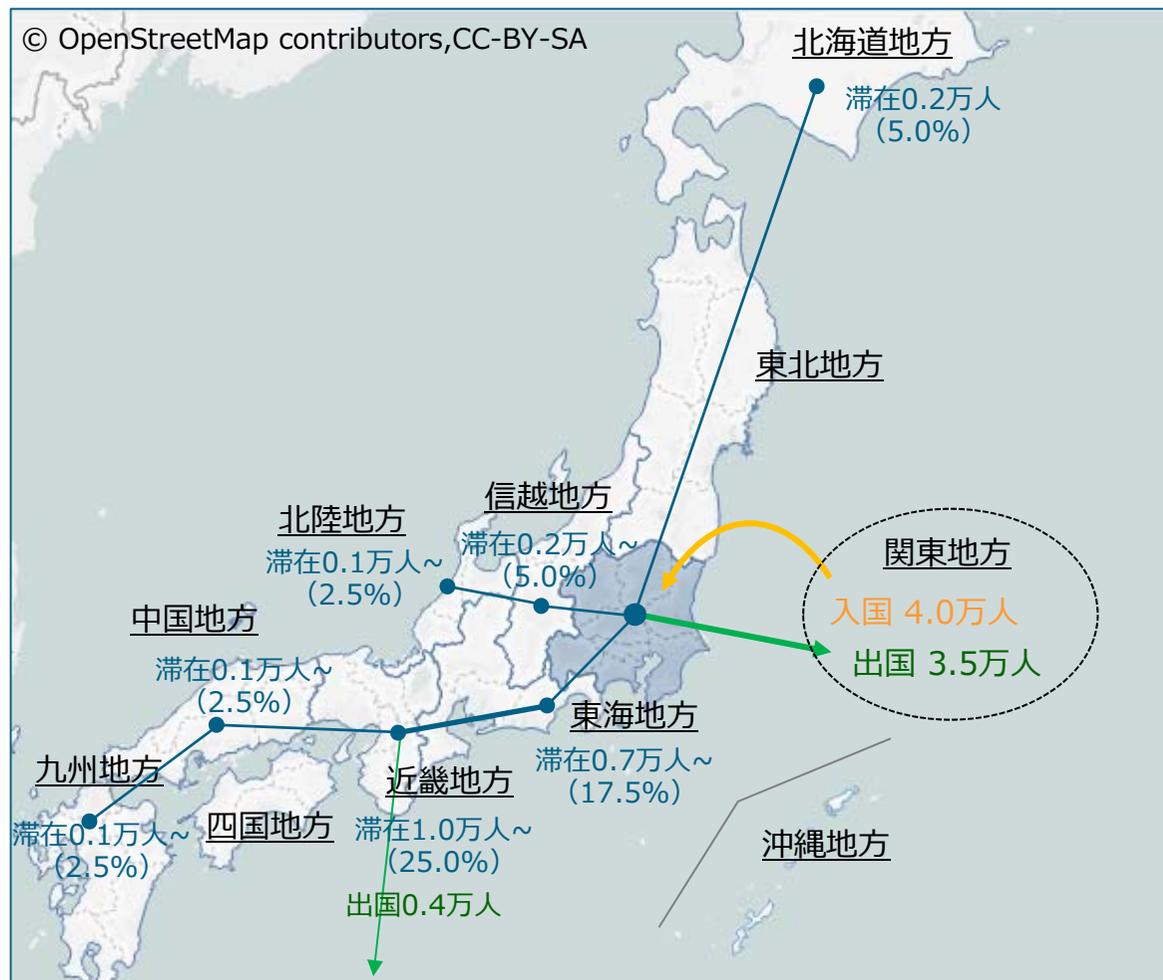
(移動実態まとめ)

旅行者数	3.5万人 (100.0%)	
狭域のみ移動者数	2.4万人 (68.6%)	
広域移動者数	関東戻り (入国=出国)	0.9万人 (25.7%)
	そのまま出国 (入国≠出国)	0.2万人 (5.7%)
滞在都道府県数 (1人あたり)	2.6	

滞在区域	滞在ピーク	平均滞在期間
北海道	4日目	5.8日間
東北	N/A	N/A
関東	1日目	4.4日間
信越	3日目	2.3日間
北陸	N/A	N/A
東海	3日目	1.8日間
近畿	5日目	3.1日間
中国	N/A	N/A
四国	N/A	N/A
九州	4日目	3.4日間
沖縄	N/A	N/A

- 狭域移動者の旅行期間は“5日間”が半数を占める。また、“北海道”への滞在は入国から“4日目”がピークとなる。また、“東海”は“4日目”、“近畿”は“5日目”と順に滞在ピークを迎える

インドネシア・関東地方入国/旅行者の広域移動実態（2016年6-8月）



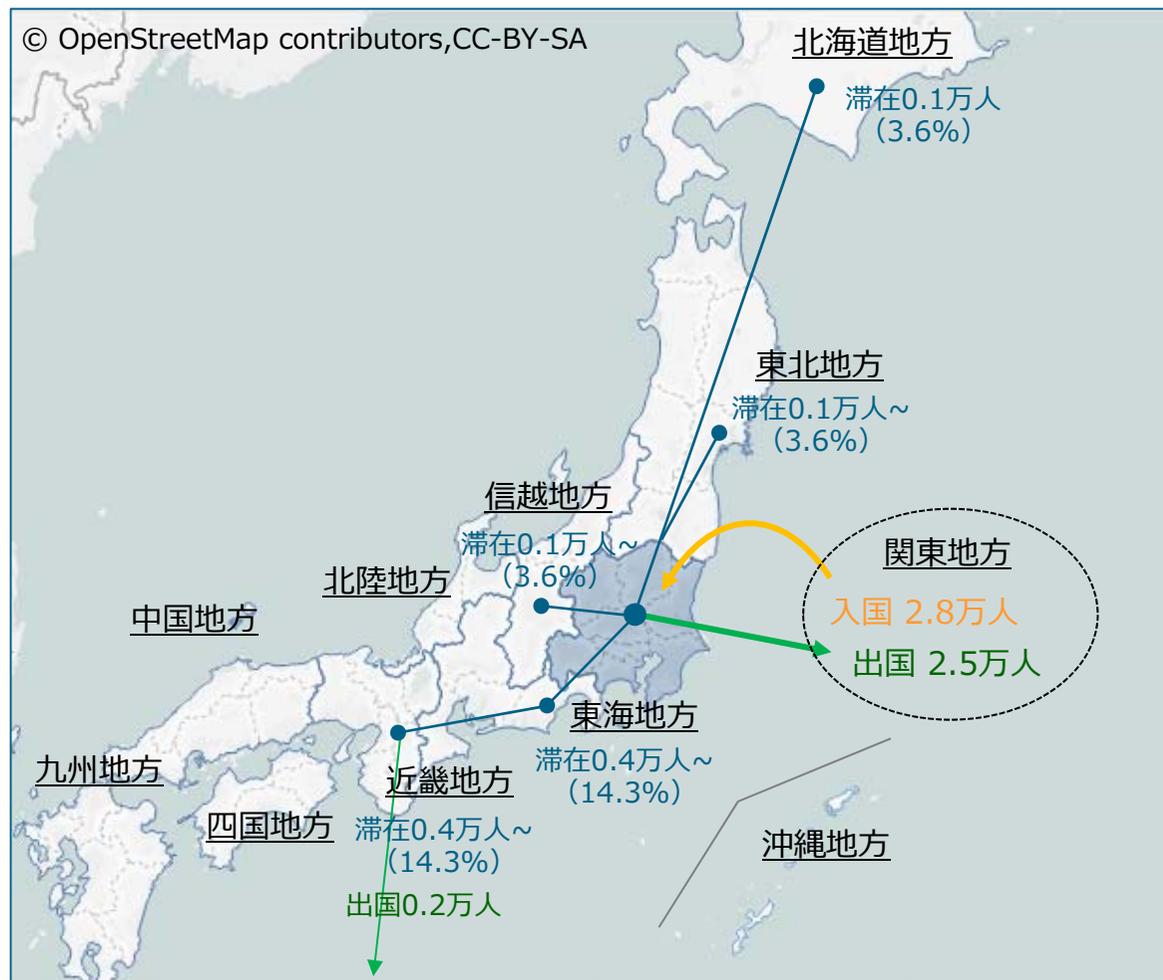
(移動実態まとめ)

旅行者数	4.0万人 (100.0%)	
狭域のみ移動者数	1.7万人 (42.5%)	
広域移動者数	関東戻り (入国=出国)	1.9万人 (47.5%)
	そのまま出国 (入国≠出国)	0.4万人 (10.0%)
滞在都道府県数 (1人あたり)	3.1	

滞在区域	滞在ピーク	平均滞在期間
北海道	4日目	5.3日間
東北	N/A	N/A
関東	1日目	4.5日間
信越	3日目	2.9日間
北陸	4日目	1.6日間
東海	4日目	4.1日間
近畿	5日目	3.4日間
中国	4日目	1.7日間
四国	N/A	N/A
九州	3日目	2.7日間
沖縄	N/A	N/A

- 狭域移動者の旅行期間は“4日間”が半数を占める。また、“北海道”への滞在は入国から“4日目”がピークとなる。また、“東海”は“3日目”、“近畿”は“5日目”と順に滞在ピークを迎える

ベトナム・関東地方入国/旅行者の広域移動実態（2016年6-8月）



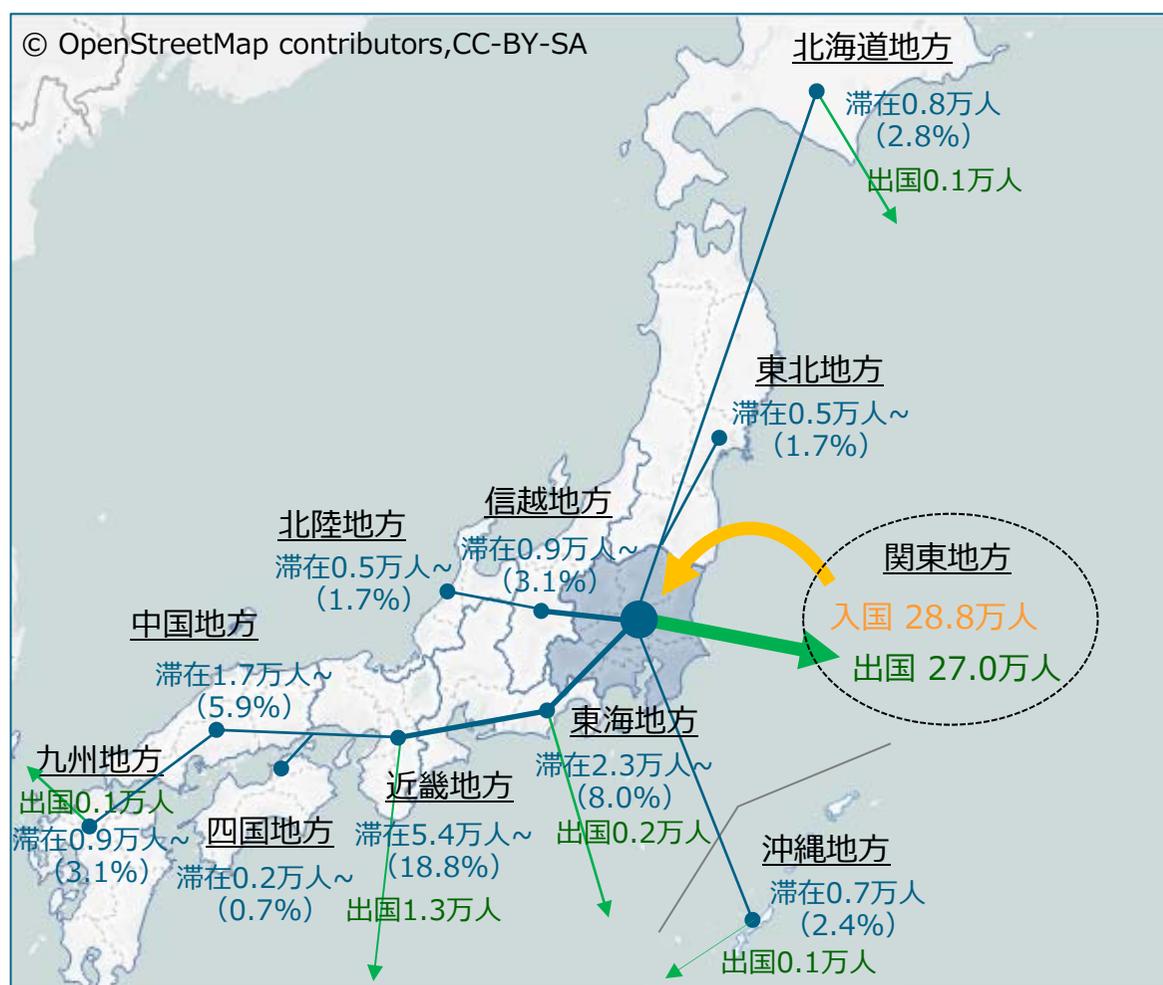
(移動実態まとめ)

旅行者数	2.8万人 (100.0%)	
狭域のみ移動者数	1.8万人 (64.3%)	
広域移動者数	関東戻り (入国=出国)	0.8万人 (28.6%)
	そのまま出国 (入国≠出国)	0.2万人 (7.1%)
滞在都道府県数 (1人あたり)	2.9	

滞在区域	滞在ピーク	平均滞在期間
北海道	4日目	2.4日間
東北	7日目	N/A
関東	1日目	4.0日間
信越	3日目	1.2日間
北陸	N/A	N/A
東海	3日目	1.9日間
近畿	5日目	2.2日間
中国	N/A	N/A
四国	N/A	N/A
九州	N/A	N/A
沖縄	N/A	N/A

- 狭域移動者の旅行期間は“5日間”が半数を占める。また、“北海道”への滞在は入国から“4日目”がピークとなる。また、“東海”は“3日目”、“近畿”は“6日目”と順に滞在ピークを迎える

アメリカ・関東地方入国/旅行者の広域移動実態（2016年6-8月）



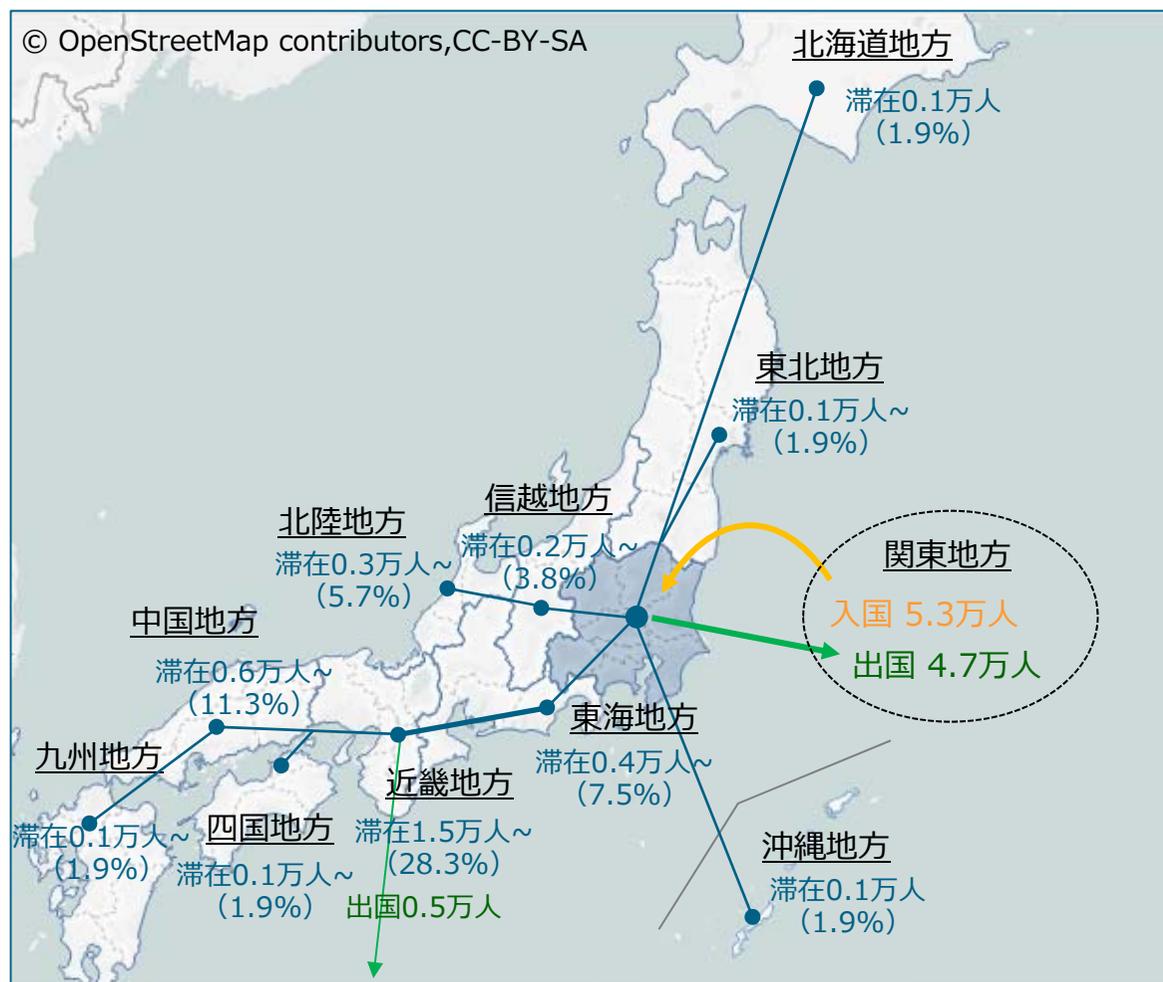
(移動実態まとめ)

旅行者数	28.8万人 (100.0%)	
狭域のみ移動者数	15.7万人 (54.5%)	
広域移動者数	関東戻り (入国=出国)	11.3万人 (39.2%)
	そのまま出国 (入国≠出国)	1.8万人 (6.3%)
滞在都道府県数 (1人あたり)	3.1	

滞在区域	滞在ピーク	平均滞在期間
北海道	4日目	6.0日間
東北	4日目	3.6日間
関東	2日目	5.4日間
信越	4日目	3.2日間
北陸	6日目	3.1日間
東海	3日目	4.6日間
近畿	6日目	3.4日間
中国	6日目	2.8日間
四国	4日目	2.9日間
九州	4日目	4.6日間
沖縄	4日目	7.7日間

- 狭域移動者の旅行期間は“5日間”が半数を占める。また、“北海道”への滞在は入国から“4日目”がピークとなる。また、“東海”は“3日目”、“近畿”は“8日目”と順に滞在ピークを迎える（東海からの流入は限定的）

フランス・関東地方入国/旅行者の広域移動実態（2016年6-8月）



(移動実態まとめ)

旅行者数	5.3万人 (100.0%)	
狭域のみ移動者数	2.0万人 (37.7%)	
広域移動者数	関東戻り (入国=出国)	2.8万人 (52.8%)
	そのまま出国 (入国≠出国)	0.5万人 (9.4%)
滞在都道府県数 (1人あたり)	3.3	

滞在区域	滞在ピーク	平均滞在期間
北海道	4日目	5.6日間
東北	4日目	1.4日間
関東	1日目	5.9日間
信越	6日目	2.7日間
北陸	7日目	2.5日間
東海	4日目	2.4日間
近畿	8日目	4.5日間
中国	7日目	2.6日間
四国	10日目	2.1日間
九州	2日目	4.4日間
沖縄	10日目	5.3日間

- 関東入国者のうち、広域移動者の“数”が多いのは“中国”と“アメリカ”からの旅行者。また、“割合”としては“インドネシア”・“フランス”・“ベトナム”も多い

国・地域	旅行者数	滞在都道府県数 (1人あたり)	狭域のみ 移動者数	広域 移動者数	広域移動の実態		広域移動の特徴
					戻って 出国	そのまま 出国	
中国	61.1万人 (100%)	3.5	24.6万人 (40.3%)	36.5万人 (59.7%)	21.3万人 (34.9%)	15.2万人 (24.9%)	<ul style="list-style-type: none"> • 入国4日目が、北海道滞在のピーク。また、東海は4日目、近畿は5日目、九州は6日目と順にピークを迎える
韓国	26.6万人 (100%)	2.1	24.0万人 (90.2%)	2.6万人 (9.8%)	1.7万人 (6.4%)	0.9万人 (3.4%)	<ul style="list-style-type: none"> • 入国4日目が、北海道滞在のピーク。また、東海は3日目、近畿は4日目と順にピークを迎える
台湾	42.9万人 (100%)	2.4	34.6万人 (80.7%)	8.3万人 (19.3%)	6.9万人 (16.1%)	1.4万人 (3.3%)	<ul style="list-style-type: none"> • 入国4日目が、北海道滞在のピーク。また、東海は3日目、近畿は5日目と順にピークを迎える
香港	19.1万人 (100%)	2.5	14.3万人 (74.9%)	4.8万人 (25.1%)	3.8万人 (19.9%)	1.0万人 (5.2%)	<ul style="list-style-type: none"> • 入国5日目が、北海道滞在のピーク。また、東海は3日目、近畿は5日目と順にピークを迎える
タイ	7.9万人 (100%)	2.6	5.4万人 (68.4%)	2.5万人 (31.6%)	2.1万人 (26.6%)	0.4万人 (5.1%)	<ul style="list-style-type: none"> • 入国4日目が、北海道滞在のピーク。また、東海は1日目、近畿は5日目と順にピークとなる（徐々に流入）

■（つづき）

国・地域	旅行者数	滞在都道府県数 (1人あたり)	狭域のみ 移動者数	広域 移動者数	広域移動の特徴		
					戻って 出国	そのまま 出国	
シンガポール	4.8万人 (100%)	2.2	3.5万人 (72.9%)	1.3万人 (27.1%)	1.2万人 (25.0%)	0.1万人 (2.1%)	<ul style="list-style-type: none"> • 入国4日目が、北海道滞在のピーク。また、東海は2日目、近畿は3日目、九州は4日目と順にピークを迎える
マレーシア	3.5万人 (100%)	2.6	2.4万人 (68.6%)	1.1万人 (31.4%)	0.9万人 (25.7%)	0.2万人 (5.7%)	<ul style="list-style-type: none"> • 入国4日目が、北海道滞在のピーク。また、東海は3日目、近畿は5日目と順にピークを迎える
インドネシア	4.0万人 (100%)	3.1	1.7万人 (42.5%)	2.3万人 (57.5%)	1.9万人 (47.5%)	0.4万人 (10.0%)	<ul style="list-style-type: none"> • 入国4日目が、北海道滞在のピーク。また、東海は4日目、近畿は5日目と順にピークを迎える
ベトナム	2.8万人 (100%)	2.9	1.8万人 (64.3%)	1.0万人 (35.7%)	0.8万人 (28.6%)	0.2万人 (7.1%)	<ul style="list-style-type: none"> • 入国4日目が、北海道滞在のピーク。また、東海は3日目、近畿は5日目と順にピークを迎える
アメリカ	28.8万人 (100%)	3.1	15.7万人 (54.5%)	13.1万人 (45.5%)	11.3万人 (39.2%)	1.8万人 (6.3%)	<ul style="list-style-type: none"> • 入国4日目が、北海道滞在のピーク。また、東海は3日目、近畿は6日目と順にピークを迎える
フランス	5.3万人 (100%)	3.3	2.0万人 (37.7%)	3.3万人 (62.3%)	2.8万人 (52.8%)	0.5万人 (9.4%)	<ul style="list-style-type: none"> • 入国4日目が、北海道滞在のピーク。また、東海は3日目、近畿は8日目と順にピークとなる（流入は限定的）

1. 広域移動実態調査

2. 狭域（首都圏）移動実態調査

3. アンケート調査

- 本調査には、観光アプリ“Japan Travel Guide”を活用した。アプリが採取する訪日外国人のモバイル端末がGPS位置を計測し、詳細な移動分析を行う

（サンプル数はモバイル空間統計と比較して少ないが、細かい人の動きをみる事が可能）



アプリログデータ

「Japan Travel Guide」

アプリ登録者：**約13万人**

※内外国人が約10万人
(2017/4/1現在)

全国の観光情報を網羅！



◆主な機能

- 多言語による観光情報の表示、検索
- 地図表示&ルート表示
- 既存情報サイトとの連携
- 位置情報に応じた表示
- PUSH通知
- QRコード翻訳
- スケジュール機能
- 口コミ投稿機能



フリーWi-Fi
アプリと
連携





無料Wi-Fi接続アプリとの連携

「Japan Connected Free Wi-Fi」

アプリダウンロード：**200万人**

AP：約15万カ所
(2016年12月時点)



◆主な機能

- 利用料無料
- 13言語に対応（日・英・韓・簡・繁・タイ・マレー・インドネシア・フランス・スペイン・ドイツ・イタリア・ロシア）
- 容易な接続

◆管理会社



◆管理会社 

◆コンテンツ協力 

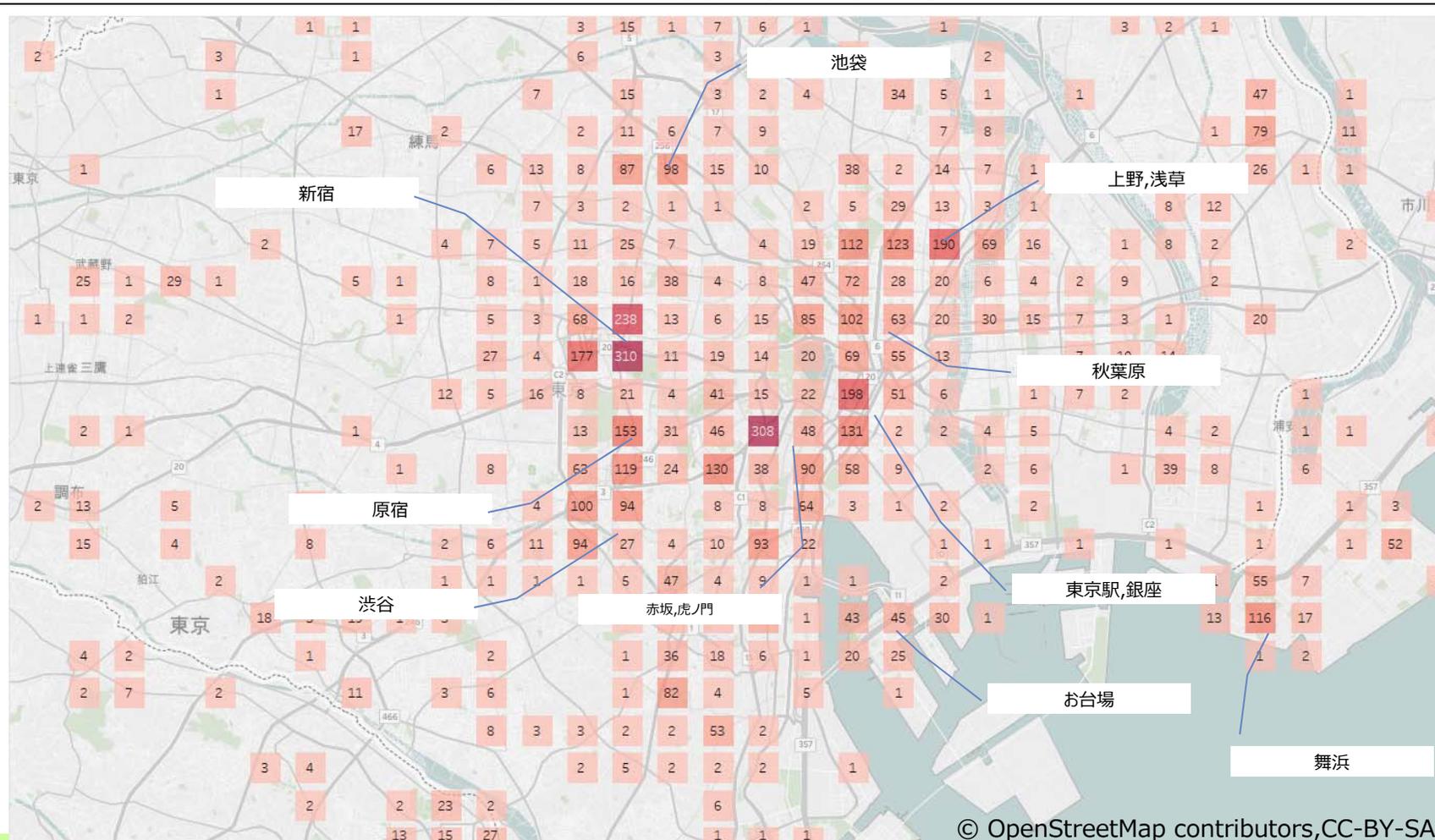
- “Japan Travel Guide”による、訪日外国人の“狭域移動実態調査”は下記条件により実施している
 - “Japan Travel Guide”は、GPSにより5分間に1度のタイミングで端末の位置情報を採取している。
 - ユーザの位置情報の1つ1つに対して「滞在」あるいは「通過」の判定をしている。具体的には、位置情報が特定地域（例えば、第3次メッシュ：1km四方）において30分以上確認できた場合を「滞在」、それ以外を「通過」と判定している。
 - 位置情報（緯度・経度）から地域名（住所）への変換は、総務省統計局の「市区町村別メッシュコード一覧※」を参照して行っている。なお、狭域移動分析の範囲は首都圏（一都三県：東京都・神奈川県・埼玉県・千葉県）としている。
 - 「正味人数」と明記している場合は「ユニークユーザ（一意の旅行者）数」を指し、それ以外の場合は「延べ人数」を指す。「延べ人数」は、正味人数を旅行日別にカウントして集計したもの（人日）
 - 分析に利用している各駅の位置は、各種Webサービスをもとに(株)NTTデータが調査したものである。
 - 属性（国籍およびパス保有/未保有）は、“Japan Travel Guide”のダウンロード時にユーザ自身が入力した情報である。

出典：総務省統計局ホームページ（http://www.stat.go.jp/data/mesh/m_itiran.htm）

- 狭域移動者を“鉄道パス（フリーパス）を保有せず、首都圏のみに滞在した訪日外国人”と定義して、滞在地や移動状況を調査(2016年6月1日～8月31日の期間で、正味人数 936人※)

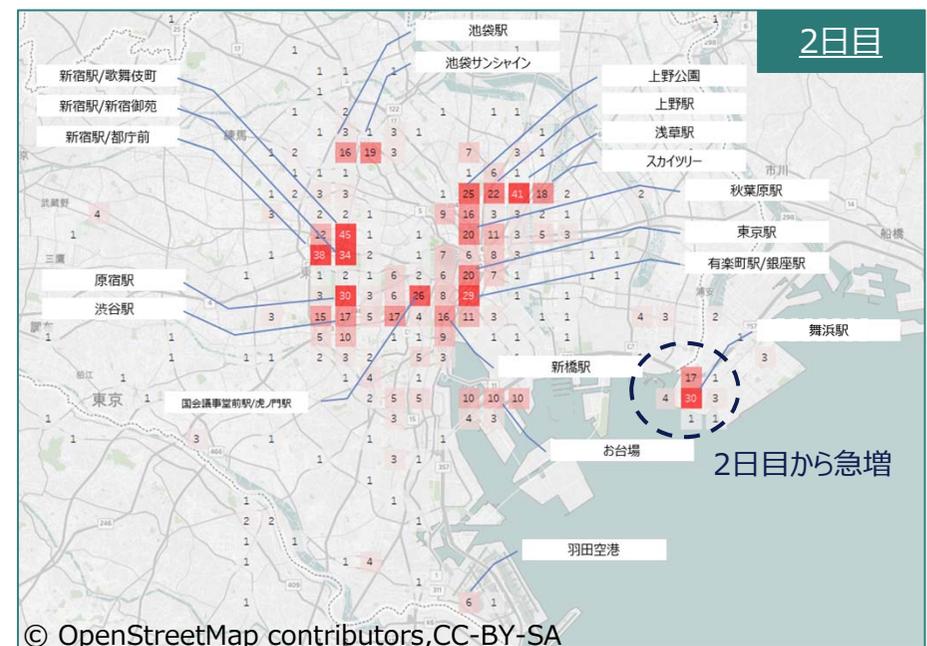
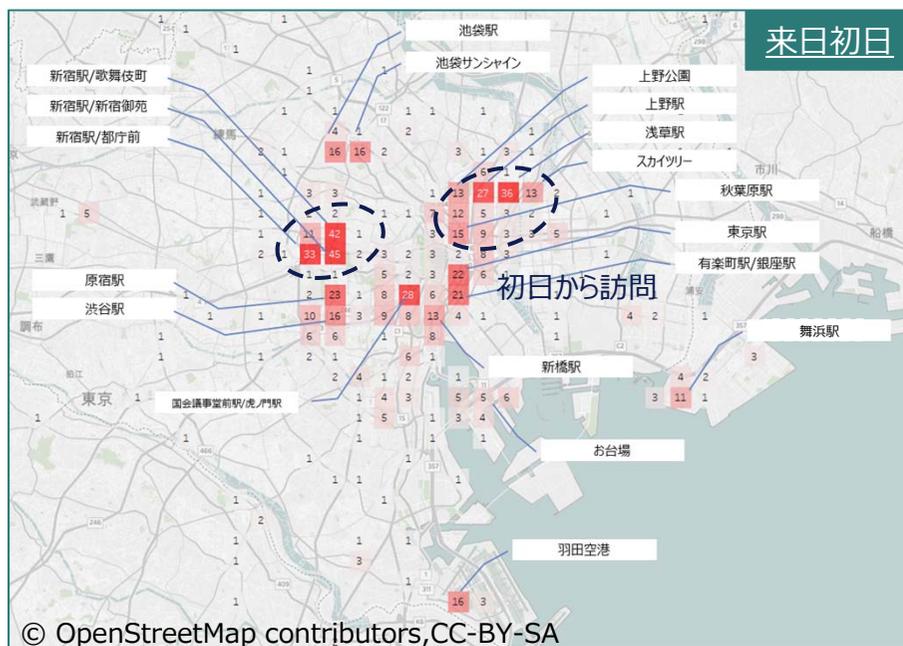
※2016年6～8月、首都圏（東京、神奈川、埼玉、千葉）に位置情報がある。Japan Travel Guideのユーザ数（首都圏に滞在しているが、首都圏以外に足を伸ばしている旅行者も含む）は3,589人。そのなかで、首都圏のみに滞在しており、Japan Travel Guideに鉄道パス（フリーパス）を登録していないユーザ

地区別の滞在者数（2016年6-8月）



- 滞在日程ごとの滞在地をみると、“新宿、浅草、銀座”などは来日初日から多くの人を訪れるが、来日2日目に“舞浜エリア”が急増

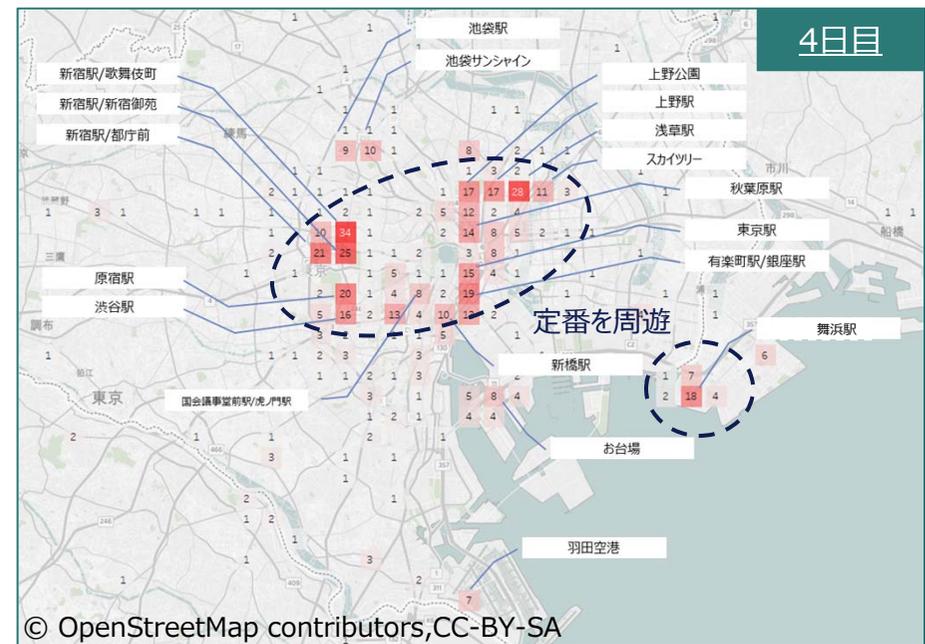
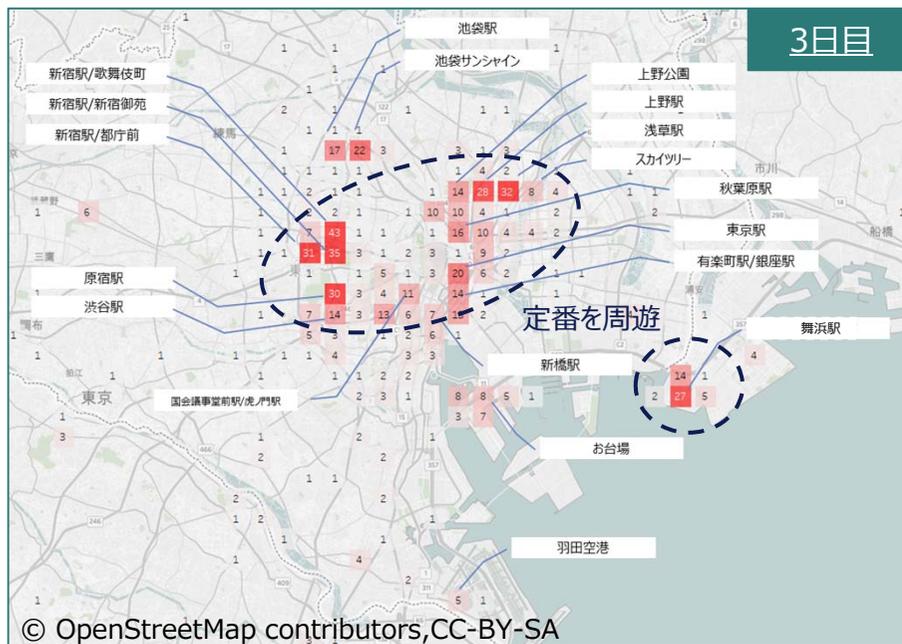
日・地区別別の滞在者数（初日から2日目まで）（2016年6-8月）



※3日目,4日目は次ページ

- 狭域移動者は旅程が短く、“東京の定番観光地”を主に周遊する傾向がうかがえる

日・地区別別の滞在者数（3日目から4日目まで）（2016年6-8月）

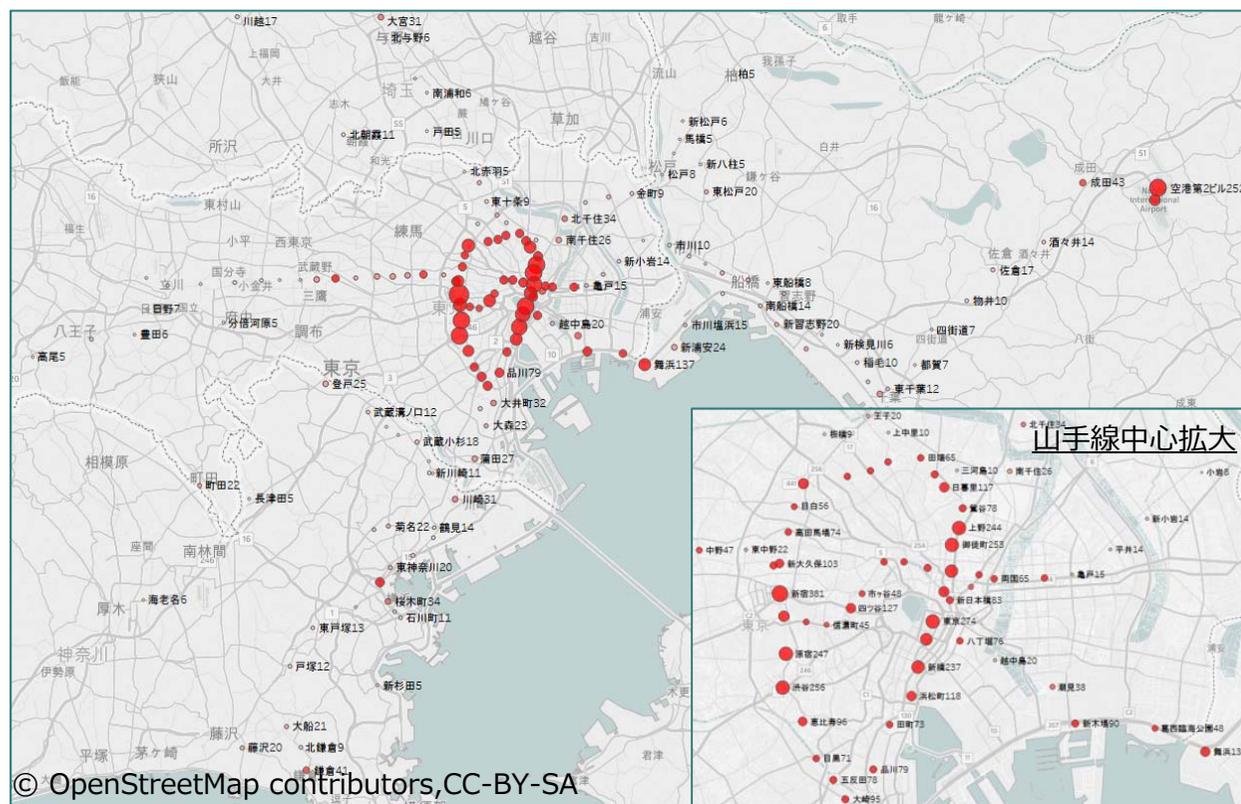


平均滞在日数
3.7日
(加重平均値)

- 狭域移動者が最も多く利用するのは“**新宿駅・渋谷駅**”であるが、1人あたりの平均利用日数は“**池袋駅・高田馬場駅**”も多い。これは宿泊地に近い乗換駅であることが影響していると考えられる
- “**鎌倉駅**”も人気があるが、1人あたりの平均利用日数は少ない。“日帰り観光地”であり、周辺での宿泊が少ないことが理由として想定される

駅利用者別ヒートマップ（2016年6-8月）

駅利用者数/上位30（2016年6-8月）



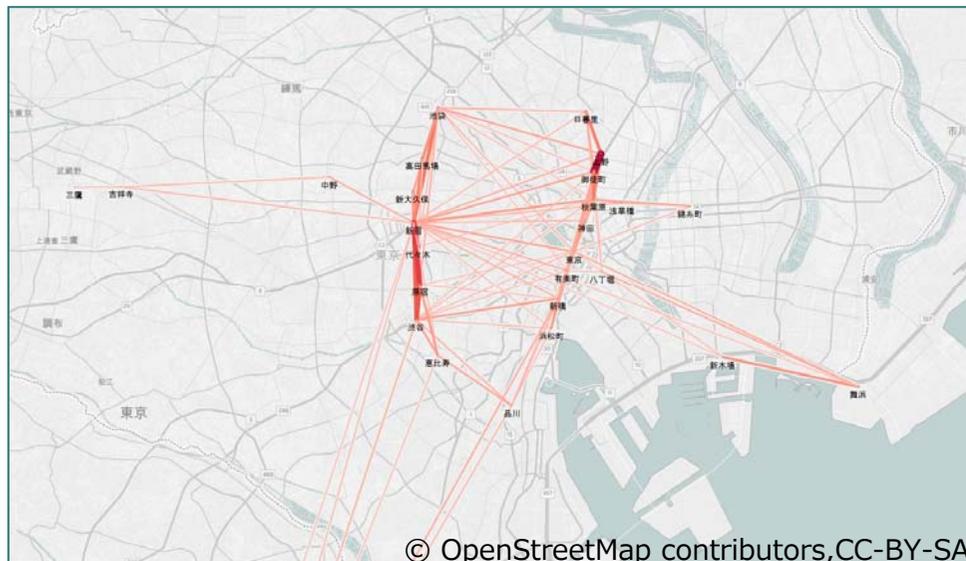
駅名	延べ人数	正味人数	平均利用日数
新宿	912	381	2.4
渋谷	556	256	2.2
東京	465	274	1.7
上野	457	244	1.9
御徒町	441	253	1.7
秋葉原	437	220	2.0
新橋	405	237	1.7
池袋	399	157	2.5
原宿	388	247	1.6
有楽町	378	211	1.8
代々木	359	169	2.1
神田	268	139	1.9
横浜	228	83	2.7
浜松町	220	118	1.9
舞浜	215	137	1.6
日暮里	206	117	1.8
高田馬場	185	74	2.5
新大久保	184	103	1.8
品川	178	79	2.3
恵比寿	164	96	1.7
浅草橋	147	67	2.2
錦糸町	146	63	2.3
八丁堀	129	76	1.7
新木場	115	90	1.3
桜木町	68	34	2.0
吉祥寺	64	54	1.2
中野	61	47	1.3
三鷹	51	27	1.9
鎌倉	43	41	1.0
海浜幕張	29	23	1.3

※駅の中心座標から半径250m圏内に位置情報があるユーザを、駅の利用者として集計している

- JR東日本・主要駅間※における移動は“池袋駅-渋谷駅”と“日暮里駅-有楽町駅”の区間に集中しており、山手線の東西で大きく分かれている。また、“新宿駅や渋谷駅”を中心に利用している旅行者は、同日中には“上野方面”を訪れず、別日に移動していることがわかる

※主要駅:訪日旅行センターで外国人に発売しているSuicaの降車駅上位30駅

駅間集中状況/通過数が延べ20人以上の経路のみ（2016年6-8月）



- 主に利用は山手線であることが分かる。
- ジブリ美術館のある三鷹駅や、東京ディズニーリゾートのある舞浜駅、横浜や鎌倉といった日本人にも有名な観光地との相関が見られた。

駅間集中状況/通過数が延べ100人以上の経路のみ（2016年6-8月）

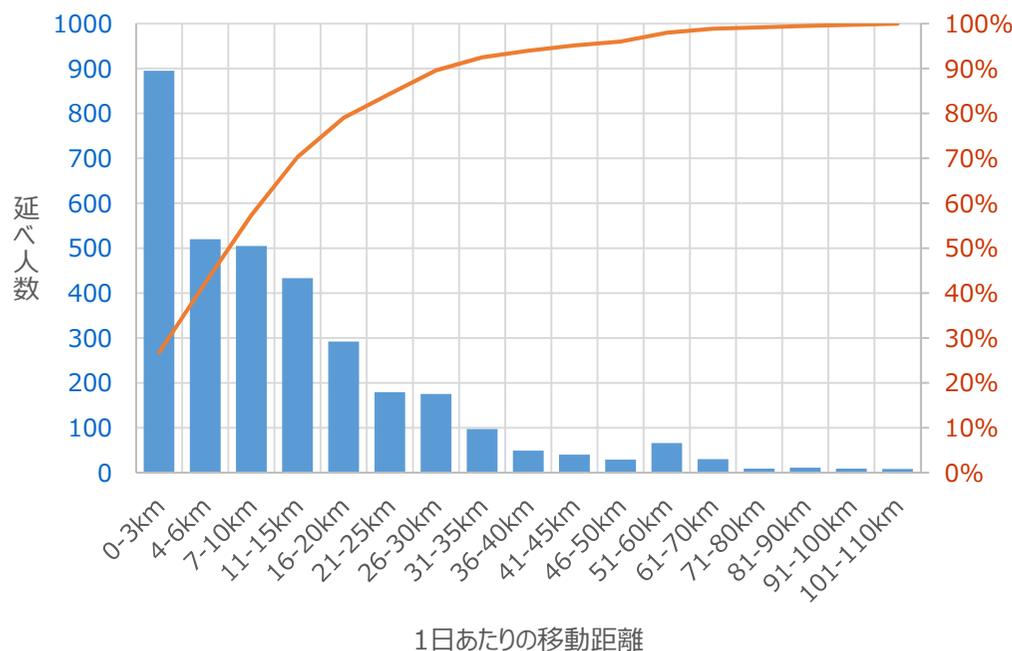


- 「池袋-渋谷」「日暮里-有楽町」で分断している。
- 首都圏内のみ移動者が対象であるにも関わらず、東西を横断するような移動は少ないことが判明した。

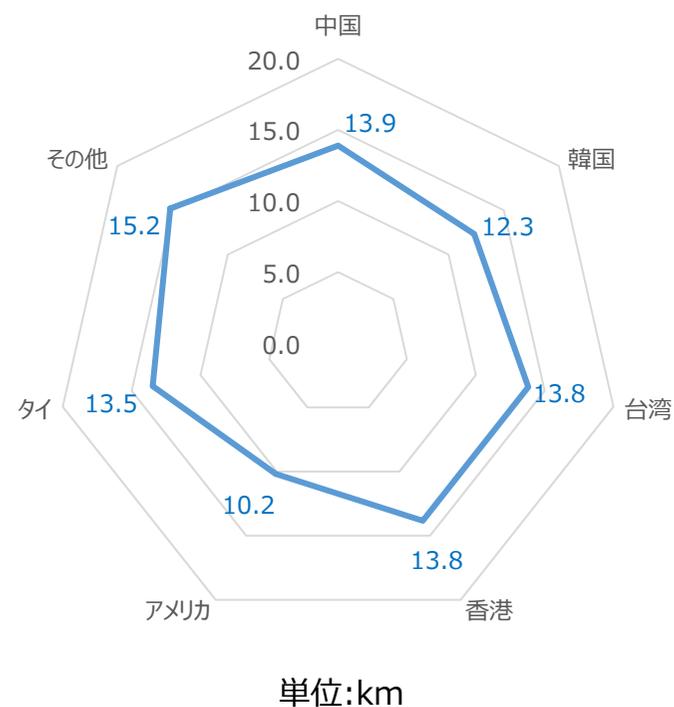
- JR東日本・主要駅間※の“移動距離”を日別に集計したところ、狭域移動者の約8割が、1日の移動距離が20km以内（片道10km圏内）である。また、国別の傾向としては、“アメリカ”からの旅行者は鉄道移動が少ないものの、その他の居住国・地域で大きな差はみられなかった

※主要駅:訪日旅行センターで外国人に発売しているSuicaの降車駅上位30駅

1日の駅間移動距離（2016年6-8月）



居住国・地域別の1日の駅間移動距離（2016年6-8月）



1. 広域移動実態調査
2. 狭域（首都圏）移動実態調査
3. アンケート調査

- アンケート実施機関：(株)クロス・マーケティング※
 - 配信期間：2017年2月20日～3月1日
 - 配信数：
 - ✓ 中国 15,000
 - ✓ 韓国 7,564
 - ✓ 台湾 12,460
 - ✓ 香港 8,960
 - ✓ アメリカ 61,500
 - 回答数：各国 240サンプル
計1,200サンプル
 - 回収条件：
 - ✓ 20・30・40代, 50代以上の男・女
(年代均等に 60サンプルずつ)
 - ✓ 過去1年以内に訪日旅行経験あり
- 【補足】ページ共通の凡例：
- ✓ SA；単一選択回答
 - ✓ MA；複数選択回答

※調査結果の集約・分析は(株)NTTデータ

■ 個人旅行者と団体旅行者の数（国ごとの人数。FIT率は回答者全体に対する個人旅行者の比率）

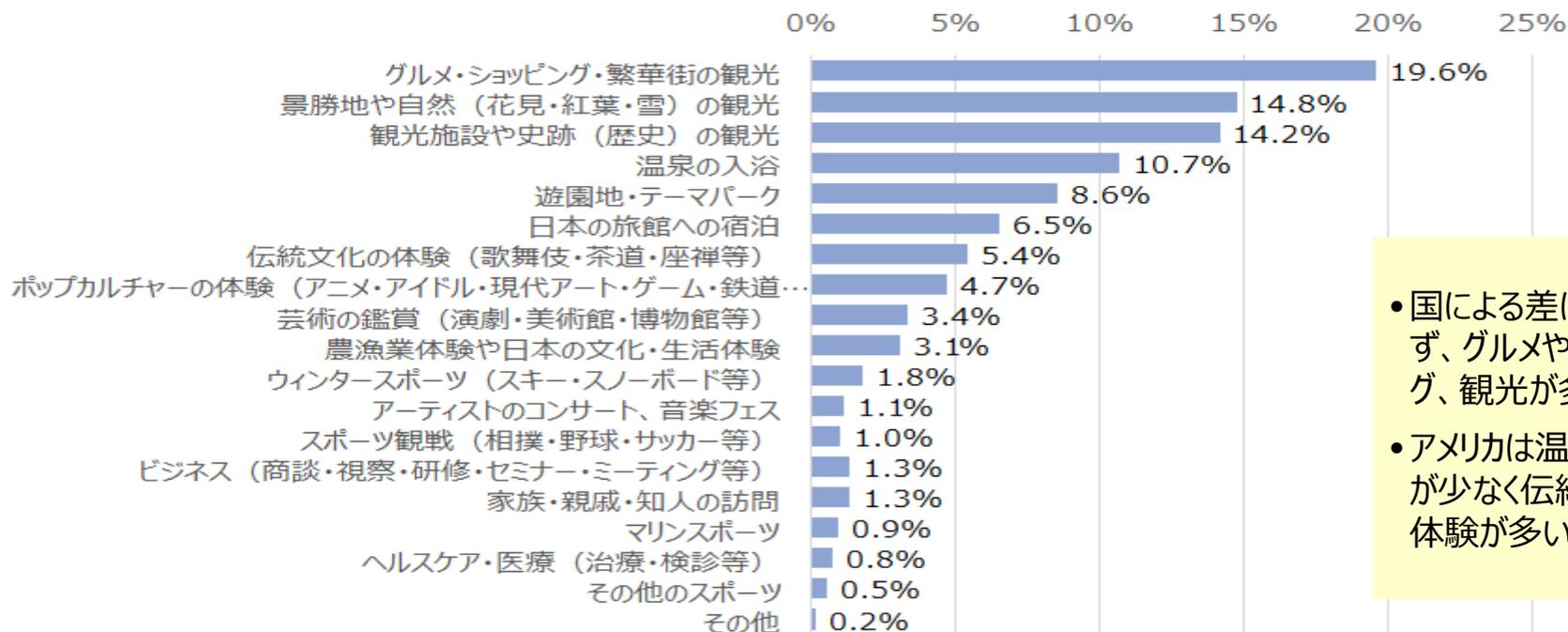
【Q】 一番最近の日本旅行での“旅行形態”を教えてください。（S A）

	中国	韓国	台湾	香港	アメリカ	全体
個人旅行	147	192	146	187	177	849
団体旅行	93	48	94	53	63	351
FIT率	61%	80%	61%	78%	74%	71%

• 全体的に個人旅行の比率が高いが、中国・台湾は相対的に団体旅行が多い

■ 直近の訪日旅行の目的（項目ごと、5か国全体・回答者全体に対する比率）

【Q】 一番最近の日本旅行での、“旅行の目的”を教えてください。（M A）



• 国による差は目立たず、グルメやショッピング、観光が多い
 • アメリカは温泉目当てが少なく伝統文化の体験が多い

■ 直近の訪日旅行において、訪日前、滞在エリアの決定に用いた情報源
(国ごとと全体について、回答者全体に対する上位5項目の比率)

[Q] “滞在エリアの決定”に使った“情報収集媒体”を教えてください。／訪日前 (M A・5つまで)

	1位	2位	3位	4位	5位
中国	S N S・ブログ記事 (57%)	オンライン予約サイト (55%)	インターネット動画サイト (44%)	テレビ番組・新聞記事 (43%)	家族・友人など (37%)
韓国	S N S・ブログ記事 (59%)	オンライン予約サイト (58%)	テレビ番組・新聞記事 (43%)	家族・友人など (30%)	地図検索・ルート検索サ イト (25%)
台湾	S N S・ブログ記事 (59%)	オンライン予約サイト (53%)	テレビ番組・新聞記事 (42%)	家族・友人など (38%)	インターネット動画サイト (27%)
香港	S N S・ブログ記事 (59%)	オンライン予約サイト (59%)	テレビ番組・新聞記事 (33%)	家族・友人など (31%)	日本の政府・自治体 ホームページ (26%)
アメリカ	オンライン予約サイト (63%)	テレビ番組・新聞記事 (40%)	S N S・ブログ記事 (35%)	インターネット動画サイト (25%)	地図検索・ルート検索サ イト (23%)
全体	オンライン予約サイト (58%)	S N S・ブログ記事 (55%)	テレビ番組・新聞記事 (40%)	家族・友人など (31%)	インターネット動画サイト (29%)

・各国ともSNS・ブログ記事が上位。アジア圏では家族・友人からの情報も多く、日本を旅行した人からの口コミも重要な情報源

■ 直近の訪日旅行において、訪日中、滞在エリアの決定に用いた情報源
(国ごとと全体について、回答者全体に対する上位5項目の比率)

【Q】 “滞在エリアの決定”に使った“情報収集媒体”を教えてください。／訪日中（M A・5つまで）

	1位	2位	3位	4位	5位
中国	オンライン予約サイト (37%)	S N S・ブログ記事 (33%)	インターネット動画サイト (29%)	地図検索・ルート検索 サイト (22%)	日本の政府・自治体 ホームページ (21%)
韓国	S N S・ブログ記事 (35%)	オンライン予約サイト (33%)	地図検索・ルート検索 サイト (29%)	インターネット動画サイト (21%)	家族・友人など／日本 の宿泊施設 (18%)
台湾	オンライン予約サイト (35%)	地図検索・ルート検索 サイト (30%)	S N S・ブログ記事 (29%)	日本の空港や駅、 観光案内所・旅行者 相談カウンター (23%)	家族・友人など (21%)
香港	オンライン予約サイト (35%)	地図検索・ルート検索 サイト (30%)	S N S・ブログ記事 (29%)	家族・友人など (19%)	旅行専門書籍 (18%)
アメリカ	オンライン予約サイト (37%)	S N S・ブログ記事 (25%)	地図検索・ルート検索 サイト (24%)	日本の空港や駅、 観光案内所・旅行者 相談カウンター (22%)	日本の政府・自治体 ホームページ (20%)
全体	オンライン予約サイト (35%)	S N S・ブログ記事 (30%)	地図検索・ルート検索 サイト (27%)	インターネット動画サイト (19%)	日本の空港や駅、 観光案内所・旅行者 相談カウンター (18%)

• オンライン予約サイトは訪日前・中を通じて多くの人が利用。また、訪日中は地図検索・ルート検索サイトが重要な情報源として浮上

■ 直近の訪日旅行において、移動に各交通機関を利用した人の割合
(国ごとと全体について、回答者全体に対する比率)

【Q】 一番最近の日本旅行で、以下の交通機関を利用されましたか。(M A)

※日本全体を11の区域(北海道、東北、関東、信越、北陸、東海、近畿、中国、四国、九州、沖縄地方)と規定し、区域をまたいだ移動を“**広域移動**”、区域内移動を“**狭域移動**”と定義し、回答を求めた

広域移動

	中国	韓国	台湾	香港	アメリカ	全体
広域移動した人数 (割合)	154 (64%)	69 (29%)	79 (33%)	72 (30%)	114 (48%)	488 (41%)
飛行機 (日本の国内線)	55%	21%	26%	24%	37%	33%
新幹線	46%	21%	22%	20%	38%	30%
バス	34%	18%	15%	15%	33%	23%

狭域移動

	中国	韓国	台湾	香港	アメリカ	全体
鉄道・地下鉄	63%	73%	71%	73%	74%	71%
バス	68%	75%	63%	70%	60%	67%
タクシー	65%	68%	53%	60%	62%	62%

• 中国、アメリカは広域移動者が多い。広域移動における飛行機と新幹線、狭域移動における各交通機関の利用率は拮抗している

■ 直近の訪日旅行において、各交通機関を利用した回数・一人あたりの利用金額

(広域移動は広域移動した人の平均回答値、狭域移動は回答者全体の平均回答値)

【Q】 一番最近の日本旅行で、以下の交通機関を利用された回数と、1人あたりの利用金額総額を教えてください。(SA)

※集計において、回数については、回答項目3-5回→4回、6-10回→8回、11回以上→11回と換算、利用金額については、回答項目5,000円以下→2,500円、5,001-10,000円→7,500円、10,001-30,000円→20,000円、30,001-50,000円→40,000円と換算

広域移動

(広域移動した人の平均回答値)

	中国		韓国		台湾		香港		アメリカ		全体	
飛行機 (日本の国内線)	1.9回	25,327円	2.0回	24,050円	2.0回	30,345円	2.3回	30,877円	2.3回	27,324円	2.1回	27,204円
新幹線	2.5回	14,286円	2.3回	11,250円	2.6回	13,315円	3.0回	14,583円	3.4回	19,972円	2.8回	15,265円
バス	3.0回	12,138円	3.2回	8,720円	3.4回	10,694円	3.7回	14,143円	3.8回	13,913円	3.4回	12,140円

狭域移動

	中国		韓国		台湾		香港		アメリカ		全体	
鉄道・地下鉄	2.8回	8,865円	3.4回	7,691円	3.5回	8,638円	4.7回	8,765円	4.4回	11,518円	3.8回	9,108円
バス	2.8回	9,083円	3.5回	6,054円	3.4回	7,264円	3.2回	6,867円	3.8回	8,843円	3.3回	7,541円
タクシー	3.2回	10,960円	2.7回	8,312円	3.5回	11,148円	3.5回	11,857円	3.9回	12,926円	3.3回	10,969円

• 広域移動・狭域移動ともにアメリカ、香港が回数・利用金額が多い傾向。中国は広域移動比率が高い割に回数・利用金額が少ない

■ 鉄道の利用率（新幹線の利用者、鉄道パス（フリーパス）利用者の割合）

（国ごとと全体について、回答者全体に対する比率）

【Q】 一番最近の日本旅行で、新幹線を含む鉄道等に乗れるフリーパスを購入したか教えてください。（M A・購入したフリーパスすべて）

※上記質問に対し、一つでもフリーパスを購入した人の比率をフリーパス利用率とし、鉄道・新幹線利用率は、交通機関利用実態の回答から算定

	中国	韓国	台湾	香港	アメリカ	全体
鉄道利用率	89%	78%	80%	79%	87%	83%
新幹線利用率	19%	24%	24%	23%	24%	23%
鉄道パス利用率	15%	19%	18%	18%	17%	17%

■ 新幹線等のチケット購入方法

（国ごとと全体について、新幹線利用者に対する比率。ウェブでの購入率はウェブサイト経由で購入した人の比率。自国での購入率は自国のウェブサイトまたは店頭店舗から購入した人の比率）

【Q】 一番最近の日本旅行で利用された新幹線のチケットを”どのように予約・事前購入、または購入したか”を教えてください。（S A）

	中国	韓国	台湾	香港	アメリカ	全体
自国のウェブサイト	25%	43%	22%	29%	45%	33%
日本のウェブサイト	29%	12%	16%	20%	23%	21%
自国の旅行代理店など	14%	18%	24%	16%	9%	16%
日本の駅、旅行代理店など	29%	26%	38%	33%	21%	29%
わからない/その他	3%	1%	1%	1%	1%	1%
ウェブでの購入率	55%	54%	38%	49%	68%	54%
自国での購入率	40%	60%	46%	46%	54%	49%

- 中国、アメリカの鉄道利用率が高いが、中国は新幹線利用率が低い。韓国の鉄道パス利用率が高いのは近距離タイプの利用が多いため
- 国により若干の差はあるが、ウェブ購入率・自国購入率ともに半数程度

■ 鉄道パス（フリーパス）購入理由（国ごとと全体について、鉄道パス購入者に対する比率）

【Q】 新幹線を含む鉄道等に乗れるフリーパスを購入した理由を教えてください。（M A）

	中国	韓国	台湾	香港	アメリカ	全体
鉄道やバスのチケットを個別に買うより経済的だから	49%	55%	65%	60%	61%	58%
予定を固めず、柔軟に鉄道やバスの利用を決められるから	54%	54%	52%	50%	49%	52%
いちいち、チケットを購入する手間がなくなるから	47%	43%	57%	49%	35%	46%
その他	6%	12%	9%	12%	14%	10%

■ 鉄道パス（フリーパス）非購入理由（国ごとと全体について、鉄道パス非購入者に対する比率）

【Q】 新幹線を含む鉄道等に乗れるフリーパスを購入しなかった理由を教えてください。（M A）

	中国	韓国	台湾	香港	アメリカ	全体
知らなかった	49%	41%	43%	33%	50%	45%
フリーパス（乗り放題券）が必要なほど、鉄道やバスを利用しなかった	35%	46%	49%	43%	28%	39%
購入するのが煩わしかった	25%	20%	17%	23%	19%	21%
その他	0%	0%	0%	3%	7%	2%

- 購入理由は「経済的」が多い、中国では「柔軟に利用が決められる」という回答がトップ
- 非購入理由としては「知らなかった」が半数近い回答数

■ ICカード乗車券の利用率と認知率（国ごとと全体について、回答者全体に対する比率）

- 【Q】 一番最近の日本旅行において、ICカード乗車券（SuicaやPASMO等）を利用されたかどうか教えてください。（SA）
 【Q】 一番最近の日本旅行において、ICカード乗車券を利用しなかった理由を教えてください。（SA）
 【Q】 ICカード乗車券が電子マネーとして売店、コンビニ、街中のお店、自動販売機などでの買い物使えることを知っていましたか。（SA）

※ ICカード乗車券を利用しなかった理由を「知らなかった」と回答した人数から「ICカード認知率」を算定

	中国	韓国	台湾	香港	アメリカ	全体
ICカード乗車券利用率	28%	22%	33%	30%	54%	33%
ICカード乗車券認知率	92%	74%	78%	78%	82%	81%
電子マネー機能認知率	65%	56%	74%	63%	70%	53%

■ ICカード乗車券の購入手段（国ごとと全体について、回答者全体に対する比率）

- 【Q】 一番最近の日本旅行において、ICカード乗車券をどのタイミングで入手したか教えてください。（SA）

	中国	韓国	台湾	香港	アメリカ	全体
日本に着いた直後の空港・駅で購入した	55%	60%	36%	41%	29%	41%
旅行中の空港・駅で購入した	24%	17%	29%	28%	22%	24%
過去の日本旅行で購入したものを持ち帰って、一番最近の日本旅行でも持ってきた	1%	8%	19%	18%	27%	17%
訪日前に、自国で購入した	7%	12%	5%	3%	18%	10%
他の人（親戚・友人等）からもらった	12%	4%	11%	10%	5%	8%

- 認知率は8割と非常に高いが利用率は3割程度にとどまっている
- 日本到着直後に購入する人が多いが、リピーターとして再度持ってきている人も一定数存在

■ 直近の訪日旅行においてICカード乗車券を利用しなかった理由
 (国ごとと全体について、ICカード乗車券を「利用しなかった」という回答者に対する比率)

【Q】 一番最近の日本旅行において、I Cカード乗車券を利用しなかった理由を教えてください。(S A)

	中国	韓国	台湾	香港	アメリカ	全体
知らなかった	11%	34%	33%	31%	40%	29%
I Cカード乗車券 (SuicaやPASMO等) が必要なほど、鉄道を利用しなかった	24%	22%	28%	26%	21%	24%
日本旅行でしか使わないI Cカードを購入するのがもったいないと思った	36%	12%	7%	13%	13%	16%
鉄道やバスのフリーパス (乗り放題券) を購入したので必要なかった	6%	12%	11%	11%	13%	10%
プリペイドした金額を使いきれないと思った / 返金が面倒だと思った	9%	10%	9%	9%	6%	9%
購入するのが煩わしかった	12%	6%	6%	4%	3%	6%
その他	2%	4%	6%	5%	5%	4%

- 「知らなかった」は3割程度で「必要なかった」という回答も多い
- 「返金が面倒」「購入が煩わしい」という回答も一定数存在



NTT DATA